

第2次加須市人権施策実施計画に基づく各種施策の 令和4年度事業実施状況報告

加須市 総務部 人権・男女共同参画課

目 次

第2次加須市人権施策実施計画に基づく各種施策の令和4年度事業実施状況報告について	1
加須市人権施策推進基本方針の見直し等について	1
加須市人権施策推進基本方針の概要について	1
第2次加須市人権施策実施計画に基づく各種施策の令和4年度進捗状況について	2
第2次加須市人権施策実施計画進行管理調書（実施状況報告書）	
1 あらゆる場や対象をとらえた人権教育・人権啓発の推進	3
2 相談・支援の推進	21
3 市民、NPO、企業等と協働した人権尊重の地域づくり	37
4 その他	42

○第2次加須市人権施策実施計画に基づく各種施策の令和4年度事業実施状況報告について

本市では、「加須市人権施策推進基本方針」等の実効性を確保し、具体的な事業を総合的・計画的に推進していくため、「第2次加須市人権施策実施計画」に定める各事業の実施状況について、進行管理を行っています。この計画に定める各事業について、「目的」「概要」などをもとに各年度における取組内容を把握するとともに、「成果・目標指標」の達成状況により点検・評価を行い、加須市人権施策推進審議会にその実施状況の報告を行うことにより、着実な推進を目指しています。

今回は、平成30年度から開始となった「第2次加須市人権施策実施計画（平成30～令和4年度）」について、5年目となる令和4年度に関係各課において推進してきた具体的な施策82項目の実施状況を報告するものです。（「加須市人権施策推進基本方針」に基づく各種施策体系図 別紙）

○加須市人権施策推進基本方針の見直し等について

「加須市人権施策推進基本方針」等は、策定から約5年が経過し、この間の社会情勢の変化や人権関連法の施行等に的確に対応するため、令和5年2月に改訂を行いました。また、「第2次加須市人権施策実施計画（平成30～令和4年度）」が期間満了になったことから、その評価や課題及び社会情勢の変化や法改正等を踏まえ、次期5年間の計画を「第3次加須市人権施策実施計画（令和5～令和9年度）」と名称変更し、策定を行いました。

令和5年度からは、この計画に基づき各種施策を推進し、進行管理を行っています。

○加須市人権施策推進基本方針の概要について

「加須市人権施策推進基本方針」では、各種人権施策を推進するにあたっては、人権尊重の視点に立った市民との協働による市政全般の分野に共通する取組として、次の3つの視点から、事業を総合的に展開していきます。

- 1 あらゆる場や対象をとらえた人権教育・人権啓発の推進
- 2 相談・支援の推進
- 3 市民、NPO、企業等と協働した人権尊重の地域づくり

○第2次加須市人権施策実施計画に基づく各種施策の令和4年度進捗状況について

項目	事業・取組数	令和4年度実施状況に対する評価数(%)※			
		目標を達成	概ね達成	やや遅れている	大幅に遅れている
1 あらゆる場や対象をとらえた人権教育・人権啓発の推進	30	20(66.7%)	4(13.3%)	4(13.3%)	2(6.7%)
2 相談・支援の推進	38	19(50.0%)	10(26.3%)	8(21.1%)	1(2.6%)
3 市民、NPO、企業等と協働した人権尊重の地域づくり	10	8(80.0%)	0(0.0%)	2(20.0%)	0(0.0%)
4 その他	4	3(75.0%)	0(0.0%)	1(25.0%)	0(0.0%)
合計	82	50(61.0%)	14(17.1%)	15(18.3%)	3(3.6%)

※ 令和4年度 評価基準

目標を達成	…	4年度の実績値が目標値の100%以上に達し、当該年度の目標を達成した
概ね達成	…	4年度の実績値が目標値の80%以上に達した
やや遅れている	…	4年度の実績値が目標値の80%未満となった
大幅に遅れている	…	4年度の実績値が目標値の50%未満となった

「第2次加須市人権施策実施計画（計画期間：平成30～令和4年度）」の最終年度となる令和4年度における各事業・取組については、当該年度の目標を達成した事業・取組が50件（61.0%）、概ね順調の事業・取組（目標値の80%以上）が14件（17.1%）、やや遅れている事業・取組（目標値の50%以上80%未満）が15件（18.3%）と、大幅に遅れている事業が3件（3.6%）となり、概ね目標どおり事業・取組を実施できました。

本計画の計画期間中のほとんどにおいて、新型コロナウイルス感染症の蔓延という未曾有の事態となりましたが、各部署で試行錯誤し得た経験を活かし、今後におきましては、本計画の後継となる令和5年2月に策定された「第3次加須市人権施策実施計画（計画期間：令和5年度～令和9年度）」に基づき、加須市人権施策推進審議会委員の皆さんから広く意見等を伺いながら改善・見直しを行い、さらなる事業・取組の推進を図ります。

第2次加須市人権施策実施計画 進行管理調書（実施状況報告書）

1 あらゆる場や対象をとらえた人権教育・人権啓発の推進

人権教育の推進

(1) 学校等での取組

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	人権教育に係る全体計画及び年間指導計画の作成率 (%)						
1	学校人権教育 の推進	【目的】 学校等の全教育活動を通じ児童 生徒の発達段階に応じて、人権 教育を推進し、人権問題の正し い理解を図り、解決に向けて自 ら行動できる態度を育成する。	【学校人権教育の推進】 ・市立各幼稚園及び各小・中 学校の人権教育に係る全体計 画及び年間指導計画の作成。 【学校教育課】 ・ローテーションによる加須 市学校人権教育計画訪問の実 施。 ・教員の指導力向上を図るた めの人権教育研修会の実施。	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	人権教育に係る全体計画及び年間指導計画の作成率 (%)						・各小・中学校が作成する全 体計画や年間指導計画の見直 しを呼びかけ、各種の人権課 題に対する位置づけがより明 確になるようにする。 ・教員の指導力向上を図る研 修等を充実させ、児童・生徒 の知的理解や人権感覚を高め ていく。 ・若手の教員の人権教育への 意識を高めることをねらいと して、8月の初任者研修にお いて、同和問題を中心とした 人権教育の学びの場を設定す る。(令和3年度より実施)
	年度				29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)		
	学校教育課 こども保育課	【概要】 ○学校人権教育推進体制の充実 ○人権教育に係る全体計画と年 間指導計画の作成 ○各学校等の課題に応じた学校 人権教育の教育内容及び指導法 の改善			目標	100	100	100	100	100	100	
					実績	100	100	100	100	100	100	
					【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市立全小・中学校が作成した人権教育に係る全体計画及び年間指導計 画を確認し、その計画に基づき、全教育活動において、各学校の特色を 生かした人権教育を展開したため。							
1			【学校人権教育の推進】 【こども保育課】 ・学校教育課人権教育担当指 導主事から人権教育計画訪問 を受けた。(令和4年度は志 多見幼稚園、騎西南幼稚園の 2園) ・人権教育全体計画を各園で 作成し、指導を行った。 ・教育センター主催の研修会 及び東部地区人権教育実践報 告会に参加し教員の指導力向 上を図った。	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	人権教育に係る全体計画及び年間指導計画の作成率 (%)						・幼児にとって一番の人的環 境である教員の関わりは、大 きな影響を与えるため、さら に教員自身の人権感覚を磨 き、幼児にとってのよきモデ ルとなれるよう努める。
	年度	29年度	30年度		元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)				
					目標	100	100	100	100	100	100	
					実績	100	100	100	100	100	100	
					【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市内各幼稚園で、幼児たちが様々な体験を通して思いやりの気持ちを 育むことができるような教育活動や、人権教育に係る全体計画及び年間 指導計画を確認したため。指導計画を作成することで、教員自身が意識 しながら指導を行うことができた。							

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等	
2	管理職等人権教育研修会	【目的】 学校人権教育の組織的、計画的推進を図るため、管理職としての識見を高め、学校人権教育の推進に資する。	【管理職等人権教育研修会】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら実施。	1・ 目標を達成	指標(単位)	年間開催回数 (回)	・今後も研修会の実施を継続し、管理職の意識向上から、学校全体の意識向上につなげていく。
	学校教育課 こども保育課	【概要】 ○教育委員会及び学校等の管理職等を対象とする学校人権教育研修会の開催			年度	29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度(決算)	
3	北埼玉地区人権教育研究会	【目的】 同和教育をはじめとする人権教育を積極的に推進するため、人権教育・同和教育を推進する指導的立場にある学校等教職員を対象として、人権意識の高揚を図り、人権問題・同和教育の正しい理解と認識を深める。	【北埼玉地区人権教育研究会】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら開催。	1・ 目標を達成	指標(単位)	加須市からの参加者数 (名)	・今後も継続して実施するにあたり、開催の方法を羽生市・行田市と連携を図りながら進めていく。 ・分科会の内容を工夫し、参加者がより主体的に研修できるようにしていく。
	学校教育課 こども保育課	【概要】 ○北埼玉地区内の公立学校等の教職員、児童生徒、保護者、関係団体職員等を対象とする研修会の開催			年度	29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度(決算)	
4	学校人権教育指導資料の作成	【目的】 教育課程に位置づけた人権教育の実践のため、人権教育に視点を当てた各教科及び領域の指導実践例を取り上げて編集し、市立各小・中学校に冊子を配布して、教職員の指導力向上を図る。	【学校人権教育指導資料の作成】 ・市内の小・中学校教員の代表9名による学校人権教育指導資料の作成。 ・市立各小・中学校への学級数分の学校人権教育指導資料の配付。	1・ 目標を達成	指標(単位)	学級への配布率 (%)	・今後も継続して発行を行うにあたり、各種の人権課題や小・中学校の学年及び教科のバランスを踏まえて、内容の充実を図っていく。 ・人権教育の推進において、研修や訪問の機会に、本指導資料を有効に活用していく。
	学校教育課	【概要】 ○人権教育のねらいや視点、各教科等の特質を踏まえ、学校人権教育の実践事例として学校人権教育指導資料を作成し、市立各小・中学校に配布			年度	29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度(決算)	
					目標	100 100 100 100 100 100	
					実績	100 100 100 100 100 100	
					【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度同様の開催を中止としたため。 ・令和2年度、3年度に開催を中止した分に関しては、令和4年度に研修会を開催し、管理職としての識見を高めた。		
					【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度同様の開催を中止としたため。 ・北埼玉地区人権教育研究会は開催中止となったが、当日、配布する予定であった資料を市立全小・中学校に配布し、各校の人権教育の推進に活用した。		
					【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・学校人権教育指導資料第49集を作成し、各小・中学校に学級数分を配布することができたため。また、県の人権教育課等、関係諸機関にも送付し、加須市としての取組を発信することができたため。		

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等						
5	人権教育現地 研修会	【目的】 学校人権教育の着実な推進と人 権教育担当教員等の指導力の向 上を目指す。	【人権教育現地研修会】 ・新型コロナウイルス感染症 拡大防止に配慮しながら開 催。	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	年間開催回数 (回)						
	学校教育課	【概要】 ○小・中学校の人権教育主任等 を対象とする現地研修会の実施			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら近隣市で半日の日 程に変えて実施をした。
6	学校人権教育 計画訪問の計 画と実施	【目的】 人権教育に関する授業の指導内 容・工夫改善等について指導・ 助言を行い、教職員の指導力向 上を図る。	【学校人権教育計画訪問の計 画と実施】 ・ローテーション表に基づく 人権教育計画訪問の実施。 ・実施校での人権教育に係る 取組の報告。 ・指導主事と指導員による実 践校での人権教育に関する指 導・助言。	2 ・ 概 ね 達 成	指標(単位)	訪問指導回数 (回)						
	学校教育課 こども保育課	【概要】 ○学校人権教育担当指導主事及 び人権教育指導員による、市立 小・中学校や幼稚園の訪問校の 人権教育に関する授業実践等 についての指導			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市立各小・中学校7校(小学校5校、中学校2校)及び幼稚園2園の 計画訪問を実施し、各校・園における人権教育に関する取組を確認し、 指導・助言をすることができたため。
					目標	市立小・ 中学校8 校、幼稚 園2園へ 各1回の 訪問指導	市立小・ 中学校8 校、幼稚 園2園へ 各1回の 訪問指導	市立小・ 中学校8 校、幼稚 園2園へ 各1回の 訪問指導	市立小・ 中学校8 校、幼稚 園2園へ 各1回の 訪問指導	市立小・ 中学校8 校、幼稚 園2園へ 各1回の 訪問指導	市立小・ 中学校8 校、幼稚 園2園へ 各1回の 訪問指導	
					実績	市立小・ 中学校7 校、幼稚 園3園へ 各1回の 訪問指導	市立小・ 中学校7 校、幼稚 園3園へ 各1回の 訪問指導	市立小・ 中学校7 校、幼稚 園3園へ 各1回の 訪問指導	市立小・ 中学校7 校、幼稚 園2園へ 各1回の 訪問指導	市立小・ 中学校6 校、幼稚 園2園へ 各1回の 訪問指導	市立小・ 中学校7 校、幼稚 園2園へ 各1回の 訪問指導	

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等		
7	教育研究委嘱	【目的】 毎年1校、2年間にわたる人権教育に関わる研究を委嘱し、指導内容・方法等の改善を図る。	【教育研究委嘱】 ・令和2年度に鴻基小学校に「人権教育」の研究を委嘱した成果の発表を行った。	1・ 目 標 を 達 成	指標(単位) 研究委嘱校数 (校)							・今後も、市の研究委嘱との連携を図り、人権教育の研究委嘱を進め、加須市の人権教育の普及や啓発に努めていく。		
	年度	29年度			30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)					
	目標	1			1	1	1	1	1					
	実績	1			1	1	1	1	1					
	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・鴻基小学校に「人権教育」の研究を委嘱した。(委嘱期間：令和2年度～令和3年度末まで)なお、令和4年度には、その成果を市内の市立小・中学校に発表した。 ・授業や学校行事のみならず、全教育活動の中で人権教育を推進している。													
学校教育課	【概要】 ○幼稚園・小中学校に対し、「人権教育」の研究を計画的に委嘱し、全校を挙げて人権教育を推進する機会を設定													

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	各種研究大会への教職員の参加人数 (名)						
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	
8	研究大会・研究集会等への派遣	【目的】 人権教育主任及び人権教育担当の資質の向上を図る。	・埼玉県人権教育研究会、埼玉県人権フォーラムに指導主事が参加。 ・全国人権・同和教育研究大会へは、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら実施、参加をした。	1・目標を達成	目標	①埼玉県人権教育研究会参加者：31 ②埼玉人権フォーラム参加者：3 ③全国人権・同和教育研究大会参加者：1	①埼玉県人権教育研究会参加者：31 ②埼玉人権フォーラム参加者：3 ③全国人権・同和教育研究大会参加者：1	①埼玉県人権教育研究会参加者：31 ②埼玉人権フォーラム参加者：3 ③全国人権・同和教育研究大会参加者：1	①埼玉県人権教育研究会参加者：31 ②埼玉人権フォーラム参加者：3 ③全国人権・同和教育研究大会参加者：1	①埼玉県人権教育研究会参加者：31 ②埼玉人権フォーラム参加者：3 ③全国人権・同和教育研究大会参加者：1	①埼玉県人権教育研究会参加者：31 ②埼玉人権フォーラム参加者：3 ③全国人権・同和教育研究大会参加者：1	・人権教育担当に限らず、色々な立場の教員を参加対象として参加を促し、学校全体として教員の理解や指導力を向上させていく。
	学校教育課	【概要】 ○人権教育の推進に係る研究大会への教職員派遣			実績	①埼玉県人権教育研究会参加者：31 ②埼玉人権フォーラム参加者：3 ③全国人権・同和教育研究大会参加者：1	①埼玉県人権教育研究会参加者：31 ②埼玉人権フォーラム参加者：3 ③全国人権・同和教育研究大会参加者：1	①埼玉県人権教育研究会参加者：31 ②埼玉人権フォーラム参加者：3 ③全国人権・同和教育研究大会参加者：1	①埼玉県人権教育研究会参加者：1 ②埼玉人権フォーラム参加者：1 ③全国人権・同和教育研究大会参加者：0	①埼玉県人権教育研究会参加者：1 ②埼玉人権フォーラム参加者：1 ③全国人権・同和教育研究大会参加者：0	①埼玉県人権教育研究会参加者：3 ②埼玉人権フォーラム参加者：1 ③全国人権・同和教育研究大会参加者：1	
					【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、学校教育課担当者をはじめ限られた人数参加となったため。 ・当初の予定どおり参加することはできなかったが、埼玉県内外の様々な人権教育の推進に係る研究大会に出席し、資質の向上を図ることができた。							

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等																												
9	人権保育の推 進	【目的】 子育て支援を必要とする家庭に 対し子どもの育つ権利を保障 し、いじめや差別を許さない豊 かな感性を持った子どもを育て る保育の実践を図る。	・人権保育リーフレットを作 成し、各保育所（園）の保育 士に配布し、人権保育を啓 発。 ・各保育所（園）の保護者が 集まる際、人権保育推進保育 士等による研修会を実施。	1・ 目 標 を 達 成	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標(単位)</th> <th colspan="6">研修会の参加人数 啓発物の配布者数 (名)</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度 (決算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>137 430</td> <td>137 430</td> <td>137 430</td> <td>140 450</td> <td>140 450</td> <td>140 500</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>138 492</td> <td>137 455</td> <td>137 501</td> <td>59 566</td> <td>80 558</td> <td>177 624</td> </tr> </tbody> </table>	指標(単位)	研修会の参加人数 啓発物の配布者数 (名)						年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	目標	137 430	137 430	137 430	140 450	140 450	140 500	実績	138 492	137 455	137 501	59 566	80 558	177 624	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も多くの保護者の参加 が得られるよう研修内容や周 知方法等について検討してい く。
	指標(単位)	研修会の参加人数 啓発物の配布者数 (名)																																
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)																												
目標	137 430	137 430	137 430	140 450	140 450	140 500																												
実績	138 492	137 455	137 501	59 566	80 558	177 624																												
こども保育課	【概要】 ○人権保育推進委員会との協働 による啓発事業の実施 ・保育所職員の研修会の開催 ・保護者の研修会の開催 ○啓発資料の紹介、提供		<p>【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会については、人権保育推進保育士による研修会のほか、騎西保 育所で埼玉県保育所視察交流会を実施したため、目標値を大幅に上回っ た。 ・啓発物の配布については、「人権保育リーフレット」を作成し、各保 育所（園）において、目標値以上の保育士・保護者に配布し、啓発を行 うことができたため。 																															
No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等																												
10	いじめの防止 等のための取 組の実施	【目的】 全ての児童生徒が安心して学校 生活を送り、様々な活動に集中 して取り組めるよう、いじめの 根絶を図る。	【学校教育課】 ・各校のいじめの未然防止体 制の充実。 ・いじめアンケート調査や、 いじめ撲滅期間を年3回実 施。 ・学校や教育センターに、さ わやか相談員やスクールカウ ンセラー等を配置し、教育相 談体制を充実。	1・ 目 標 を 達 成	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標(単位)</th> <th colspan="6">いじめ防止のための取組の実施 (回)</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度 (決算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>いじめア ンケート 調査の年 間(年間 3回)</td> <td>いじめア ンケート 調査の年 間(年間 3回)</td> <td>いじめア ンケート 調査の年 間(年間 3回)</td> <td>いじめア ンケート 調査の年 間(年間 3回)</td> <td>いじめア ンケート 調査の年 間(年間 3回)</td> <td>いじめア ンケート 調査の年 間(年間 3回)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>いじめ撲 滅期間の 実施(年 間3回)</td> <td>いじめ撲 滅期間の 実施(年 間3回)</td> <td>いじめ撲 滅期間の 実施(年 間3回)</td> <td>いじめ撲 滅期間の 実施(年 間3回)</td> <td>いじめ撲 滅期間の 実施(年 間3回)</td> <td>いじめ撲 滅期間の 実施(年 間3回)</td> </tr> </tbody> </table>	指標(単位)	いじめ防止のための取組の実施 (回)						年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	目標	いじめア ンケート 調査の年 間(年間 3回)	いじめア ンケート 調査の年 間(年間 3回)	いじめア ンケート 調査の年 間(年間 3回)	いじめア ンケート 調査の年 間(年間 3回)	いじめア ンケート 調査の年 間(年間 3回)	いじめア ンケート 調査の年 間(年間 3回)	実績	いじめ撲 滅期間の 実施(年 間3回)	いじめ撲 滅期間の 実施(年 間3回)	いじめ撲 滅期間の 実施(年 間3回)	いじめ撲 滅期間の 実施(年 間3回)	いじめ撲 滅期間の 実施(年 間3回)	いじめ撲 滅期間の 実施(年 間3回)	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ撲滅期間の取組とし て、「SOSの出し方に関する教 育」を行った。 ・今後もいじめのアンケート を定期的実施し、いじめの 早期発見と早期解決に向けて 取り組んでいく。
	指標(単位)	いじめ防止のための取組の実施 (回)																																
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)																												
目標	いじめア ンケート 調査の年 間(年間 3回)	いじめア ンケート 調査の年 間(年間 3回)	いじめア ンケート 調査の年 間(年間 3回)	いじめア ンケート 調査の年 間(年間 3回)	いじめア ンケート 調査の年 間(年間 3回)	いじめア ンケート 調査の年 間(年間 3回)																												
実績	いじめ撲 滅期間の 実施(年 間3回)	いじめ撲 滅期間の 実施(年 間3回)	いじめ撲 滅期間の 実施(年 間3回)	いじめ撲 滅期間の 実施(年 間3回)	いじめ撲 滅期間の 実施(年 間3回)	いじめ撲 滅期間の 実施(年 間3回)																												
学校教育課 子育て支援課 人権・男女共 同参画課	【概要】 ○いじめの防止等のための取組 を実施		<p>【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校において、市が定めるいじめ撲滅期間に取り組んだ。また、年3 回のいじめアンケートを実施し、いじめの早期発見と迅速な対応をとる ことができたため。 																															

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	いじめ問題対策連絡協議会開催回数 (回)						
10			【子育て支援課】 ・年2回の「いじめ問題対策連絡協議会」を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止。 ・必要に応じて「個別ケース検討会議」等を随時開催し、情報共有と対応協議。	4・大幅に遅れている	指標(単位)	いじめ問題対策連絡協議会開催回数 (回)						・すすく子育て相談室を中心として各関係機関との連絡調整を行い、協議会において情報を共有し、対策を協議することにより、いじめの防止等の取組の一層の充実を図る。
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	
					目標	2	2	2	2	2	2	
					実績	1	2	2	0	0	0	
					【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止によりと中止とした。 ・いじめ問題対策連絡協議会を開催することはできなかったが、今後の施策推進の参考とするため、虐待、不登校案件について関係機関と情報を共有した。							
10			【人権・男女共同参画課】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、いじめ問題対策連絡協議会の開催が中止となったため、委員会への情報提供は、なし。 ・関係各機関と情報を共有。	4・大幅に遅れている	指標(単位)	いじめ問題再調査委員会への情報提供回数 (回)						・今後も、加須市いじめ問題再調査委員会委員に対し、加須市いじめ問題対策連絡協議会の資料等による加須市のいじめ問題に関する情報提供を行い、再調査委員会が開催された場合の審議に資するよう努めていく。
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	
					目標	1	1	2	2	2	2	
					実績	1	2	2	1	0	0	
					【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止により、いじめ問題対策連絡協議会は開催されなかったことから、情報提供をすることができなかったため。 ・いじめ問題対策連絡協議会を開催することはできなかったが、今後の施策推進の参考とするため、虐待、不登校案件について関係機関と情報を共有した。							

(2) 家庭での取組

No	事業・取組名 所管課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等										
					指標(単位)	人権問題講演会開催回数 (回)																
1	人権問題講演会	【目的】 市民を対象に広く人権問題に関する学習機会を提供し、人権意識の高揚と人権問題への正しい理解を深める。	・加須市人権問題講演会の開催(参加者350人) 講師：蓮池薫氏(新潟産業大学経済学部准教授) 演題：「夢と絆」	1・ 目標を達成	年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	・今後も人権問題に対して、身近に問題意識をもってもらえるよう内容や講師を選定し、参加者の増加を図り、人権への理解を深めていく。										
	生涯学習課	【概要】 ○各種人権問題についての講演会を開催			目標	1	1	1	1	1	1		実績	1	1							
					【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、講演会を実施することができたため。 ・著名な講師であり拉致問題についての講演内容のため、参加者に興味を引く内容であった。終了後のアンケート調査でも高い評価を得ることができた。																	
2	人権問題地域別研修会	【目的】 各地域の市民を対象に人権問題に関する学習機会を提供し、人権意識の高揚と人権問題への正しい理解を深める。	・市内3地域において、人権問題地域別研修会開催を開催 ・騎西地域50人 講師：入船亭扇蔵(落語家) ・北川辺地域61人 講師：入船亭扇蔵(落語家) ・大利根地域 中止 講師：山本志都(東京弁護士会所属)	1・ 目標を達成	指標(単位)	人権問題地域別研修会開催地域数 (地域)						・今後も人権問題に対して、身近な課題として問題意識をもってもらえるよう、テーマや講師を選定し、参加者の増加を図り、人権への理解を深めていく。										
	生涯学習課	【概要】 ○各種人権問題についての講演会を各地域単位で開催			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)		目標	3	3	3	3	3	3	実績	3	3
					【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、講演会を実施することができたため。また、広く市民に対して人権意識の高揚と人権問題への正しい理解を深める学習機会を提供できた。																	

(3) 地域での取組

No	事業・取組名 所管課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	人権問題指導者研修会開催回数 (回)						
						年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)
1	人権問題指導者研修会	【目的】 様々な人権問題に対する理解と認識を深め、あらゆる活動の場で活躍できる指導者の育成と資質向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 7つの人権課題から5つの課題を選定（同和問題については必須）し、研修会を開催 受講者数延べ414名 研修会のテーマ <ul style="list-style-type: none"> 第1回…女性の人権 第2回…性的指向・性自認 第3回…同和問題 第4回…障がいのある人 第5回…様々な人権 	1・目標を達成	目標	5	5	5	5	5	5	<ul style="list-style-type: none"> 今後も人権問題について指導者となる人材の育成に取り組んでいく。
	実績	5			5	5	3	4	5			
	生涯学習課	【概要】 同和問題をはじめとした様々な人権問題について、それぞれのテーマ別に講師を選定し、各種団体役員、市役所職員及び市内中小企業等を対象に連続講座として実施			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、講演会を実施することができたため。また、広く市民に対して人権意識の高揚と人権問題への正しい理解を深める学習機会を提供できた。							
2	公民館人権教育講座	【目的】 公民館講座の参加者を対象に様々な人権問題についての正しい理解と認識を深める。	<ul style="list-style-type: none"> 全10カ所のコミュニティセンターにおいて、高齢者学級や公民館利用団体を対象とした人権教育の実施 受講者数195人 	1・目標を達成	指標(単位)	人権教育講座開催館数 (館)						<ul style="list-style-type: none"> 今後も人権問題についての講座を実施し、受講者到人権啓発を図っていく。
	年度	29年度			30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)			
	生涯学習課	【概要】 公民館の高齢者学級において人権教育講座を実施			目標	10	10	10	10	10	10	
					実績	10	10	10	0	7	10	
					【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、全10館においては実施することができ、受講者に対して人権問題の啓発を行うことができた。							

(4) 企業等での取組

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	研修会への参加企業数 (社)						
1	企業内人権問題指導者研修会	【目的】 企業における人権問題に対する理解と認識を深め、企業の社会的責任を促すとともに、企業内の指導者の育成を図る。	・市内企業の経営者、労務担当者及び職場のリーダー等を対象に年5回の人権問題指導者研修会を生涯学習課、人権・男女共同参画課と共催で書面開催。	3 ・ や や 遅 れ て い る	指標(単位)	研修会への参加企業数 (社)						・研修会への参加を増やすため、生涯学習課、人権・男女共同参画課と連携を図り、企業向けの研修内容の検討、市内事業者への案内通知や市ホームページ、広報かぞへの掲載等、さらに積極的なPRを行っていく。
	産業振興課	【概要】 ○人権問題指導者研修会との共催による開催			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	
					目標	94	96	98	100	100	102	
					実績	59	72	76	37	59	52	
					【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市内企業の経営者、労務担当者及び職場のリーダー等を対象に人権問題指導者研修会を開催し、様々な人権問題に対する理解と認識を深めることができた。しかしながら、目標としていた参加企業数を達成することは出来なかった。							
2	ワークライフバランス事業	【目的】 働く人が意欲を持って仕事に取り組むことができ、かつ家庭においても役割と責任を果たすことができるよう、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）のとれる男女共同参画社会の構築を目指す。	・「男女共同参画推進事業所表彰」の制度について、広報紙・ホームページ・市内企業へのチラシ配布等により、制度の周知を図り、応募いただいた該当事業所の表彰を実施した。 ・市内の事業所（3,400社）に、ワーク・ライフ・バランスに関するチラシを配布し、制度の周知を図った。	3 ・ や や 遅 れ て い る	指標(単位)	男女共同参画推進事業所表彰の表彰事業所数 (事業所)						・経営者の理解を得ることは、ワーク・ライフ・バランスの推進にとって欠かせないので、「男女共同参画推進事業所表彰」を実施して、事業所に対し推進状況を周知することにより啓発を継続していく。
	人権・男女共同参画課	【概要】 ○男女共同参画推進事業所表彰の実施 ○出前講座等による周知			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	
					目標	4	4	4	4	4	4	
					実績	2	3	2	3	2	2	
					【評価の理由】 ・広報紙・ホームページ・市内企業へのチラシの配布等により、「男女共同参画推進事業所表彰」に該当する事業所を広く募集したことにより、本表彰事業の制度をPRすることは出来たが、目標としていた表彰事業所数を達成することができなかったため。							

(5) 行政の取組

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	研修受講者数 (人)						
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	
1	市職員人権問題研修会	【目的】 人権問題全般についての現状と課題を把握するとともに、市職員として人権問題に取り組む姿勢等について学び、問題解決に資する。	・令和5年1月25日・26日(両日とも午前・午後の2回に分けて実施)に、全職員を対象に、職員人権問題研修を実施した。	2・概ね達成	指標(単位)	-						・令和6年1月24日・25日(両日とも午前・午後の2回に分けて実施)に、全職員を対象に、職員人権問題研修を実施する予定である。
	年度	29年度			30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)			
	職員課	【概要】 ○人権問題全般に関する研修会を開催 ・全職員(再任用、会計年度任用職員を含む)を対象			目標	300	500	500	500	500	500	
					実績	462	415	450	504	442	471	
					【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・目標値の8割を超える研修受講者数であったため。							
2	研究会・研究集会等への参加	【目的】 同和問題をはじめとした様々な人権問題について理解と認識を深め、職員の資質の向上を図る。	【人権・男女共同参画課】 ・埼玉人権フォーラム等へ参加し、職員の知的理解と人権感覚の向上を図った。	1・目標を達成	指標(単位)	-						・引き続き、人権研修会等に参加し、同和問題をはじめとする様々な人権問題について理解と認識を深め、職員の資質の向上に努める。
	年度	29年度			30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)			
	人権・男女共同参画課 生涯学習課	【概要】 ○人権・同和教育・啓発の推進に係る研究会等への職員参加			目標	-	-	-	-	-	-	
					実績	-	-	-	-	-	-	
					【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止やオンライン開催となった研修会等もあったが、人権研修会等に参加し、職員の人権に対する理解や資質の向上を図ることができたため。							
2			【生涯学習課】 ・東部地区人権教育実践報告会、人権担当者基礎講座等の人権教育を進めるにあたり必要な講座や研究会へ参加	1・目標を達成	指標(単位)	-						・今後も、人権教育に必要な各種講座等に積極的に参加して、人権問題に対しての理解を深めていく。
	年度	29年度			30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)			
					目標	-	-	-	-	-	-	
					実績	-	-	-	-	-	-	
					【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・各種講座や報告会に参加し、職員の人権に対する理解や資質の向上を図ることができたため。							

人権啓発の推進

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	啓発物配布割合 (%)						
1	啓発用品の作成・配布 人権・男女共同参画課 生涯学習課 産業振興課	【目的】 市民の各種人権問題に対する正しい理解と、人権意識や人権感覚の高揚に資するため、効果的な人権教育や啓発活動が図られるよう啓発用品等を作成・配布する。 【概要】 ○啓発用品の作成・配布・作成した啓発用品、リーフレット等を研修会、講演等で配布	<ul style="list-style-type: none"> 啓発用品を作成し、人権フェスティバルや研修会、人権啓発展など、様々な機会を捉えて配布した。 人権標語・人権ポスターの入賞作品を掲載した啓発リーフレットを作成し、ホームページに掲載するとともに、市内公共施設等に配架した。 令和4年度に作成した啓発用品 <ul style="list-style-type: none"> 人権啓発ミニチラシ入りの市内就労継続支援作業所製作小物(600個) 人権侵害防止メッセージ入り除菌ウェットティッシュ(15,000個) 人権標語の入賞作品を印刷したボールペン(500本) 人権啓発ポスターの入賞作品を台紙に印刷したポケットティッシュ(1,000個) 	1・目標を達成	指標(単位)	啓発物配布割合 (%)						
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	
					目標	100	100	100	100	100	100	
					実績	100	100	100	100	100	100	
【評価の理由】					<ul style="list-style-type: none"> 啓発用品を作成し、人権フェスティバルや研修会、人権啓発展等の様々な機会を捉えて配布し、広く啓発することができたため。 							
1			【生涯学習課】 ・生涯学習課で主催する研修会や講演会で啓発用品を配布	1・目標を達成	指標(単位)	啓発物配布割合 (%)						
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	
					目標	100	100	100	100	100	100	
					実績	100	100	100	100	100	100	
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】					<ul style="list-style-type: none"> 研修会等において、啓発用品(クリアホルダー・ポケットティッシュ)の配付を行い、参加者に対して人権問題について理解を深めるきっかけをつくることができました。 							
1			【産業振興課】 ・企業内人権問題指導者研修会時に人権問題に対する認識をさらに深めることを目的として、当該年度の人権尊重標語優秀賞の標語入り蛍光ペンを参加者に配布した。	1・目標を達成	指標(単位)	啓発物配布割合 (%)						
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	
					目標	100	100	100	100	100	100	
					実績	100	100	100	100	100	100	
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】					<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重標語優秀賞の標語入り蛍光ペンを、参加者全員に配布することができたため。 							
<ul style="list-style-type: none"> 今後も啓発用品の内容及び配布の方法について、より高い啓発効果が得られるものとなるよう検討していく。 引き続き啓発用品を作成し、研修会等で配布することにより、人権問題に対して意識するきっかけづくりを進めていく。 啓発用品が毎年蛍光ペンとなっているため、今後、蛍光ペン以外のグッズへの変更を検討する。 												

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	人権に関する標語等の実施校数 (校)						
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	
2	人権標語等の 募集・啓発活 動の実施	【目的】 児童生徒からの人権に関する標 語や作文等を募集し、人権学習 を進めるとともに、これらを効 果的に啓発活動に活用する。	【生涯学習課】 ・市内全小・中学校の児童生 徒から、人権に関する標語、 ポスター・作文を募集 ・応募作品を掲載した文集、 チラシ及びポスターを作成 し、市内小・中学校及び公共 施設等に掲示を依頼 ・応募作品を人権啓発展で展 示	1・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	人権に関する標語等の実施校数 (校)						・市内の各課から、同様の作 文やポスター等の作成依頼が ある場合、学校・児童・生徒 の負担を減らすために、他の コンクール等に出品している ものでも提出可としている。 (他のコンクールでの入選作 品は提出不可)
	生涯学習課 人権・男女共 同参画課	【概要】 ○標語等の募集 ・標語 ・ポスター ・作文 ○人権文集等の作成・配布 ○人権フェスティバルや人権啓 発展で展示	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・人権に関する標語、ポスター、作文を募集し、人権について考える きっかけをつくり、児童・生徒の人権意識の高揚を図ることができた。		年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	
2			【人権・男女共同参画課】 ・市立全小・中学校30校の 児童、生徒が作成した人権標 語、人権ポスターを、人権 フェスティバルや人権啓発展 において展示した。 ○人権フェスティバル 開催日：10/15 会場：羽生市産業文化ホー ル ○人権啓発展会場 ・加須市役所本庁舎 ・各総合支所 ・田ヶ谷総合センター ○実施期間 ・いずれも12/2～12/26	1・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	人権に関する標語等の展示回数 (回)						・引き続き、教育委員会、学 校等と連携し、事業を実施し ていくとともに、人権学習及 び人権啓発の機会として活用 していく。
			【評価の理由】 ・人権に関する標語やポスターについて、人権フェスティバルや人権啓 発展において展示し、効果的な啓発活動を推進することができたため。		年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	
					目標	2	2	2	2	2	2	
					実績	3	3	3	5	5	5	

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等							
					指標(単位)	広報紙・ホームページ掲載回数 (回)													
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)								
3	市広報・ホームページ等での啓発	【目的】 市の広報紙・ホームページ等を活用し、様々な人権問題に関する記事を掲載し、市民に対して広く人権意識の高揚を図る。	【人権・男女共同参画課】 ・広報紙、ホームページを活用した啓発を実施。 ○広報紙 ・毎月「人権コラム」として、各種人権課題や相談案内、人権関係イベント等を掲載。(年12回) ○ホームページ ・新型コロナウイルス感染症に関連した差別の防止と相談 ・人権週間の周知 ・人権啓発展案内 ・人権擁護委員案内 ・部落差別の解消の推進に関する法律の施行の周知 ・埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例の施行についての周知 ・埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例の施行についての周知 ・性的少数者の人権尊重 ・インターネットと人権についての注意喚起 ・人権に関する意識調査の結果	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	広報紙・ホームページ掲載回数 (回)						・今後においても広報紙やホームページを活用し、広く市民の人権意識の高揚に資する内容を掲載していく。							
	年度	29年度	30年度		元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	実績	15	15		15	20	20	20			
					【評価の理由】 ・各種人権課題や相談案内、人権啓発イベント等について、市民の生活に即したタイムリーな内容を広報紙やホームページ等に掲載し、広く人権意識の高揚を図り、人権啓発活動を行うことができたため。														
3	人権・男女共同参画課 生涯学習課	【概要】 ○「市報かぞ」の活用 ・人権Q&A ・児童生徒から募集した人権に関する標語やポスター等の紹介 ・研修会、講演会等イベントの開催案内	【生涯学習課】 ・広報紙への人権啓発に関する記事の掲載 (人権コラム、人権標語・人権ポスターの掲載) ・人権についての研修会及び講座について、開催案内の掲載	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	広報紙掲載回数 (回)						・年度計画を適宜見直しながら、効果的な人権啓発を行う。また、タイムリーな人権に関する記事があれば、随時掲載していく。							
	年度	29年度	30年度		元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	目標	12	12		12	12	12	12	実績	12	12
					【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・年度計画を基に、計画的に人権啓発関係の記事を掲載し、市民に対して周知することができたため。														

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等					
4	啓発用視聴覚 教材の整備	【目的】 人権啓発用の視聴覚教材・機器 を整備し、学校や市民団体等に 貸出すことにより、効果的な人 権学習・教育の支援を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・人権DVDを幼児用、小学 生用、中学生及び一般用の計 3本購入 ・購入したDVDを含めた啓 発教材所有一覧表を小・中学 校やコミュニティセンター等 の市内公共施設に配置とホー ムページ掲載 	2 ・ 概 ね 達 成	指標(単位)	人権啓発用視聴覚教材の貸出回数 (回)					
	生涯学習課	【概要】 ○人権啓発DVDの購入 ○人権啓発用視聴覚教材・機器 の貸出			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)
					目標	75	75	80	85	90	90
					実績	117	111	76	89	120	85
					【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・視聴覚教材の貸し出しを行い、利用者の人権意識の高揚や、人権学習 の支援を行うことができたため。						
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に理解しやすい内容 であるものとし、時代背景に 合致した視聴覚教材の購入を 進めていく。 ・今後もリストをホームペー ジに掲載し、広く周知を図 り、利用者の拡大に努める。 											
5	人権擁護委員 啓発活動の支 援	【目的】 地域での人権啓発活動の一環と して催物に参画し、啓発資料の 配布等を通して、市民の人権 問題に対する正しい理解と認識 を促し、人権が尊重された地域 社会を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・市民まつり等において、人 権擁護委員により啓発資料 (人権啓発・合同相談リーフ レット、エコバック等)の配 布を行い、市民の人権問題に 対する正しい理解と認識を促 した。 加須地域 10月16日 市民まつり 200部 騎西地域 11月6日 銀杏祭 100部 北川辺地域 10月30日 ふいるさと秋まつり 100部 大利根地域 11月13日 市民まつり 100部 ・広報紙や市ホームページへ の掲載、人権啓発展での人権 擁護委員制度の周知や相談窓 口の周知。 	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	実施地域数 (地域)					
	人権・男女共 同参画課	【概要】 ○市民まつり等での啓発資料の 配布 ・リーフレット、エコバック、 クリアファイル、ボールペン ポケットティッシュ			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)
					目標	全地域 実施	全地域 実施	全地域 実施	全地域 実施	全地域 実施	全地域 実施
					実績	全地域 実施	全地域 実施	全地域 実施	未実施	未実施	全地域 実施
					【評価の理由】 ・市民まつり等多数の市民が来場する全地域のイベントにおいて、計画 通り啓発活動を実施したことにより、広く人権啓発を行うことができた ため。						
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も様々な機会を通じ、 人権擁護委員と連携を図りな がら、全地域において啓発活 動を行っていく。 											
6	人権に関する 意識調査	【目的】 市民を対象に、様々な人権問題 について意識調査を実施し、そ の実態を把握することにより、 効果的な人権教育・啓発施策の 実施に資する。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年11月に行った 「人権に関する意識調査」の 調査結果概要を取りまとめた 「人権に関する意識調査報告 書概要版(北埼玉地区版及び 加須市版)」を、人権研修会 で活用。 ・「人権に関する意識調査報 告書概要版(北埼玉地区版及 び加須市版)」を市内公共施 設へ配架、市ホームページに 掲載。 	3 ・ や や 遅 れ て い る	指標(単位)	研修会等における活用回数 (回)					
	人権・男女共 同参画課	【概要】 ○市民意識調査の実施 ○調査結果の取りまとめと周知 ○研修会や啓発活動での活用			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)
					目標	13	13	13	13	13	13
					実績	9	9	9	4	5	9
					【評価の理由】 ・「人権に関する意識調査報告書概要版」を人権研修会等で活用し、市 民意識の現状を周知したが、目標値まで届かなかったため。 ・市ホームページや職員人権問題研修会、人権問題指導者研修会、人権 フェスティバルにおいて周知や啓発に活用したとともに、意識調査の結果 から見えた人権課題について人権啓発展での啓発を行った。						
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も様々な機会を捉え て、「市民意識調査の報告書 概要版」を活用し、市民の現 状に即した効果的な人権教 育・啓発活動を行う。 											

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等						
7	人権啓発展の 開催	【目的】 人権週間に市役所及び田ヶ谷総合センター等において人権啓発展を開催し、児童生徒の人権に関する標語やポスター、人権啓発パネル等を展示することにより、来庁、来館者に人権について改めて考えていただく機会とし、人権意識の高揚を図る。	・人権週間（12/4～12/10）に合わせ、市内5ヶ所（本庁舎、各総合支所、田ヶ谷総合センター）で人権啓発展を開催。 ○開催場所 ・加須市本庁舎ギャラリー ・各総合支所ロビー ・田ヶ谷総合センター ○開催期間 ・全会場とも12/2～12/6 ○展示物 ・人権標語 ・人権ポスター ・人権折り鶴 ・人権啓発パネル ・人権文集 ・人権啓発品の配布	1・ 目標を達成	指標(単位)	人権啓発展の開催 (回)						・市内全地域において、開催期間を約1ヵ月として、人権啓発展を開催する。 今後も引き続き、広く市民に対し啓発できる機会と捉え、計画的に実施していく。
	人権・男女共同参画課	【概要】 ○児童生徒の人権に関する標語、ポスターの展示 ○人権啓発パネルの展示 ○人権啓発リーフレットや人権啓発品の配布	【評価の理由】 ・目標値に対し、開催会場、開催期間を拡大して人権啓発展を開催し、人権啓発に資することができたため。		年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	
8	北埼玉地区人権フェスティバル	【目的】 同和問題をはじめとする様々な人権問題について、地域との交流を通して、自分自身の問題として見つめ直し、人権意識や人権感覚を高め人権問題への理解と関心を深める。	・第19回北埼玉地区人権フェスティバルを羽生市を会場として開催し、北埼玉地域住民の人権意識、人権感覚の高揚を図った。 開催日 令和4年10月15日 (土) 会 場 羽生市産業文化ホール 来場者数 500人 開催内容 ・下岩瀬白山太鼓保存会演奏 ・羽生市第七保育所によるテーマソングの継承、ざんざ踊りお遊戯の披露 ・人権作文の発表 ・人権講演会 ・人権啓発展示	4・ 大幅に遅れている	指標(単位)	来場者数 (人)						・今後とも継続して開催し、より幅広い年齢層や、普段は人権研修会等に参加する機会の少ない方にも来場いただけるよう、開催内容の充実や周知方法等を検討していく。
	人権・男女共同参画課	【概要】 ○北埼玉地区人権フェスティバルの開催：北埼玉地区3市（加須市、行田市、羽生市）の広域輪番制での開催 ・広域での開催 ・実行委員会設置 ・関係機関・団体との連携 ・集会所・隣保館事業の活動発表 表 ・啓発資料の展示等 ・スポーツレク交流会	【評価の理由】 ・「第19回北埼玉地区人権フェスティバル」については、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、規模を縮小しての開催としたため、来場者数が目標値に達しなかったため。 しかし、安心・安全な開催を心がけ、規模や開催内容、開催方法、感染対策等を考慮した上で実施し、終了後のアンケート調査結果でも、約9割の方から満足との回答が得られた。		年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等																												
9	集会所事業の 推進	【目的】 地域住民の教養の向上、健康の 増進と生活文化の振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所の保守・修繕等の維持管理 ・集会所事業の企画運営のための運営委員会等を開催 ・集会所事業の実施（小・中学生学級・成人学級等の開催） 	1・ 目標を達成	<table border="1"> <tr> <th>指標(単位)</th> <th colspan="6">集会所運営委員会開催回数 (回)</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度 (決算)</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <td>各集会所において1</td> <td>各集会所において1</td> <td>各集会所において1</td> <td>各集会所において1</td> <td>各集会所において1</td> <td>各集会所において1</td> </tr> <tr> <th>実績</th> <td>各集会所において1</td> <td>各集会所において1</td> <td>各集会所において1</td> <td>各集会所において1</td> <td>各集会所において1</td> <td>各集会所において1</td> </tr> </table>	指標(単位)	集会所運営委員会開催回数 (回)						年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	目標	各集会所において1	各集会所において1	各集会所において1	各集会所において1	各集会所において1	各集会所において1	実績	各集会所において1	各集会所において1	各集会所において1	各集会所において1	各集会所において1	各集会所において1	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も魅力ある集会所運営ができるよう、維持管理を進めていく。
	指標(単位)	集会所運営委員会開催回数 (回)																																
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)																												
目標	各集会所において1	各集会所において1	各集会所において1	各集会所において1	各集会所において1	各集会所において1																												
実績	各集会所において1	各集会所において1	各集会所において1	各集会所において1	各集会所において1	各集会所において1																												
生涯学習課	【概要】 ○施設の維持管理 ○集会所運営委員会の開催 ○集会所事業の実施 ・小中学生学級 ・成人学級	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・各集会所において、集会所運営委員会を開催し、次年度の集会所事業や活用方法について協議を図ることができたため。																																
10	田ヶ谷総合センター事業の 推進	【目的】 人権啓発の拠点としての活用及び地域住民の文化活動の推進と交流の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・田ヶ谷総合センターの維持管理（ガステーブルコンロの交換工事、トイレ壁タイル修繕、便座交換、学習室空調機修繕） ・新型コロナウイルス感染症の影響により、新しい生活様式に基づく施設貸出しを実施。（来場者の検温、館内の消毒及び換気、利用者名簿の提出、事務室内パーティションの設置等） ・教養文化講座の開催 ・人権啓発の実施 ・公共施設予約システムの利用者登録の開始 ・図書室及びロビーの開放 	4・ 大幅に遅れている	<table border="1"> <tr> <th>指標(単位)</th> <th colspan="6">館利用者数 (人)</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度 (決算)</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <td>14,900</td> <td>14,900</td> <td>14,900</td> <td>14,900</td> <td>14,900</td> <td>14,900</td> </tr> <tr> <th>実績</th> <td>15,697</td> <td>15,705</td> <td>14,558</td> <td>3,666</td> <td>5,835</td> <td>6767</td> </tr> </table>	指標(単位)	館利用者数 (人)						年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	目標	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900	実績	15,697	15,705	14,558	3,666	5,835	6767	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も安心・安全な施設の運営に努める。
	指標(単位)	館利用者数 (人)																																
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)																												
目標	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900																												
実績	15,697	15,705	14,558	3,666	5,835	6767																												
人権・男女共同参画課	【概要】 ○施設の維持管理 ○学級・講座の開催及び施設の貸出 ・教養文化講座の開催 ・人権パネル展の実施 ・図書室の充実	【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、休館や教養文化講座が開催中止となったことにより、利用者数が目標値に達しなかったため。 ・利用者数が減少したものの、新しい生活様式に基づく安心・安全に配慮した施設運営を行うことができた。また、教養文化講座等が開催できなかったため、人権啓発を開催し、人権啓発の推進と地域の交流に資することができた。																																

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等						
11	国際交流推進 事業	【目的】 国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく、協働のまちづくりを進める。	◆国際交流推進事業 ・多言語による情報提供資料の作成、配布【各課】 ・多言語情報配信ツール（チラシ等10言語翻訳閲覧）の導入 ・外国人住民支援団体等へのサポート（教科書貸出、日本語教室活動場所の拡充等）	2・概ね達成	指標(単位)	多言語による情報提供資料数 (件)						
	総務課	【概要】 ○ワンナイトステイ事業の実施(H29.3.月末登録家庭件数11件、斡旋件数9件) ○多言語による情報提供【各課対応】：延べ数52件、〔例〕HP(8か国)、ごみの出し方・分け方(3か国)、ごみカレンダー(3か国)、母子手帳(8か国)、予防接種予診票(14か国)等			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人住民が地域社会の一員として暮らしていくために必要な言語の情報提供に關係課と連携し、さらに取り組む。 ・外国人住民支援団体等へのサポート体制をさらに充実させる。 ・ワンナイトステイ事業について、県と連携し、さらなる推進を目指す。 ・多言語情報配信ツール（チラシ等10言語翻訳閲覧）の周知を図りながら、活用していく。
12	ワークライフ バランス事業 (再掲)	【目的】 働く人が意欲を持って仕事に取り組むことができ、かつ家庭においても役割と責任を果たすことができるよう、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）のとれる男女共同参画社会の構築を目指す。	・「男女共同参画推進事業所表彰」の制度について、広報紙・ホームページ・市内企業へのチラシ配布等により、制度の周知を図り、応募いただいた該当事業所の表彰を実施した。 ・市内の事業所（3,400社）に、ワーク・ライフ・バランスに関するチラシを配布し、制度の周知を図った。	3・やや遅れている	指標(単位)	男女共同参画推進事業所表彰の表彰事業所数 (事業所)						
	人権・男女共同参画課	【概要】 ○男女共同参画推進事業所表彰の実施 ○出前講座等による周知			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も「男女共同参画推進事業所表彰」の制度について継続的に周知を図り、ワーク・ライフ・バランスに対する意識啓発を行っていく。
					目標	4	4	4	4	4	4	
					実績	2	3	2	3	2	2	
					【評価の理由】 ・広報紙・ホームページ・市内企業へのチラシの配布等により、「男女共同参画推進事業所表彰」に該当する事業所を広く募集したことにより、本表彰事業の制度をPRすることは出来たが、目標としていた表彰事業所数を達成することができなかったため。							

2 相談・支援の推進

(1) 国・県・他市町村等との相談機関相互の連携強化

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	人権擁護委員協議会加須部会の事業支援回数 (回)						
1	人権擁護委員協議会支援 人権・男女共同参画課	【目的】 人権擁護委員及び人権擁護委員協議会の活動支援を行うことにより、人権啓発及び人権相談事業の円滑な推進を図る。 【概要】 ○人権擁護委員協議会加須部会の活動支援 ○久喜人権啓発活動ネットワーク協議会への参加	・人権擁護委員協議会が実施する各種活動の支援 各地域の市民まつり等における啓発活動 加須市民まつり 騎西銀杏祭 童謡のふる里おおとね市民まつり 北川辺ふるさと秋まつり ・久喜人権啓発活動ネットワーク協議会による、人権教室の実施（原道小学校、田ヶ谷小学校）	2・概ね達成	指標(単位)	人権擁護委員協議会加須部会の事業支援回数 (回)						・人権啓発や人権相談業務の充実及び円滑な推進には、人権擁護委員及び人権擁護委員協議会との連携が不可欠であるため、今後も適切な活動支援及び連携を図っていく。
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	
					目標	7	7	7	7	7	7	
					実績	7	8	10	0	2	6	
					【評価の理由】 ・各地域におけるイベント等での啓発活動や、学校と連携した取り組みなどの支援を行い、広く人権啓発や人権・男女共同参画課相談業務の推進を図ることができたため。							
2	DV防止機関との連携強化 人権・男女共同参画課	【目的】 庁内関係機関、県、警察等と連携し、DV被害者の状況に応じた支援を行う。 【概要】 ○関連機関との連携を強化するODV被害者ケース会議の実施	・DVネットワーク会議において、DV被害者に関する情報及びDV被害者の適切な支援を図るために必要な情報の交換を行い、その支援の内容に関する協議を実施した。 ○関係機関 市民相談室、市民課、子育て支援課、こども保育課、地域福祉課、障がい者福祉課、高齢介護課、いきいき健康長寿課、各総合支所地域振興課、各総合支所市民福祉健康課、学校教育課、警察署、保健所	1・目標を達成	指標(単位)	DVネットワーク会議の実施回数 (回)						・今後もDVネットワーク会議を継続的に開催し、DV被害者の状況に応じた支援等に対応できるよう、関係機関との連携を図っていく。
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	
					目標	2	2	2	2	2	2	
					実績	2	2	2	2	2	2	
					【評価の理由】 ・DVネットワーク会議を実施し、関係機関とDV被害者に対しての情報交換や支援の内容に関する協議を行ったため。							

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	実務者会議、代表者会議の開催数 (回)						
3	児童虐待防止等ネットワーク事業	【目的】 保護者からの虐待等で、保護が必要な児童に対して適切な対応を図り、児童の健全な育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回の「要保護児童対策地域協議会代表者会議」を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止。 ・毎月予定していた「実務者会議」について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月・12月は開催を中止。その他の月は毎月開催して、情報共有、対応協議及び実践。 ・「個別ケース検討会議」を随時開催し、対応協議と実践。 	3・やや遅れている	指標(単位)	実務者会議、代表者会議の開催数 (回)						<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、すくすく子育て相談室を中心として関係機関と連携しながら、児童の福祉に関する相談、助言、指導を実施する。
	子育て支援課	【概要】 ○虐待防止等ネットワークによる代表者会議、例月の実務者会議、個別ケース会議の開催			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	
4	高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク	【目的】 高齢者等虐待防止ネットワーク会議を開催し、関係機関との連携体制を強化するとともに、関係機関と協働し、権利侵害のあるケースへの早期介入、適切な支援につなげることで高齢者や障がい者の権利を護る。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年2月に高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議を書面開催。 	3・やや遅れている	指標(単位)	開催回数 (回)						<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、関係機関への情報提供・注意喚起を継続し、虐待発生の未然防止、早期に通報が入る体制作りを行っている。
	高齢介護課 障がい者福祉課 市民相談室	【概要】 ○高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議の開催			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	
5	インターネット差別書き込みモニタリング事業	【目的】 北埼玉地区同和対策協議会（加須市・羽生市・行田市で構成）で連携し、インターネットによる人権問題に関する書き込みを閲覧し、差別の助長や個人の名誉を侵害する書き込みを発見したときは、関係機関と連携し、削除に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・北埼玉地区3市（加須市・羽生市・行田市）で輪番制によりモニタリング事業を実施し、問題のある書き込みについては、さいたま地方法務局長及び県知事に対し削除要請を実施。 	1・目標を達成	指標(単位)	モニタリングの実施率 (%)						<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、北埼玉地区3市（加須市・羽生市・行田市）で連携し、継続的にモニタリング事業を実施していく。
	人権・男女共同参画課	【概要】 ○インターネットによる人権問題に関する書き込みの閲覧 ○関係機関との連携による問題情報の書き込みの削除要請及び情報提供			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	

(2) 相談機関の充実

No	事業・取組名 所管課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	合同相談における人権相談実施回数 (回)						
1	人権相談	【目的】 市民の人権に関する相談に応じ、その問題の解決に向けた支援をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回、合同相談において人権擁護委員による人権相談を実施した(年12回・うち6月と12月は特設人権相談として開催)。 ・広報紙や市ホームページ、研修会、公共施設へのチラシの配架等により、人権相談事業についての周知を行った。 	1・ 目標を達成	年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も市民が安心して人権に関する相談ができる体制を整えるとともに、相談者が容易に相談できるよう情報提供を行っていく。
	目標	12			12	12	12	12	12			
	人権・男女共同参画課	【概要】 ○合同相談での人権擁護委員による人権相談・特設人権相談(年2回) ○人権・男女共同参画課での相談			実績	12	12	12	1	8	12	
					【評価の理由】 ・月1回(年12回・うち2回は特設人権相談として実施)、合同相談において人権相談を実施し、人権相談体制を講じることができたため。 ・広報紙や市ホームページ、研修会、公共施設へのチラシの配架等により、各種人権相談窓口の周知に努めた。							
2	同和問題相談	【目的】 人権・同和問題等の様々な悩みごとや心配ごと等の生活上の相談に応じ、その問題の解決に向けた支援をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して同和問題相談員を設置し、電話・訪問・臨宅等により、随時、生活上の相談に応じ、関係行政機関と連携を図りながら助言や指導を実施した。また、合同相談にも出席し、相談しやすい体制を整えた。 	1・ 目標を達成	指標(単位)	実施月数 (月)						<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、同和問題相談員を設置し、相談体制を整える。
	年度	29年度			30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)			
	人権・男女共同参画課	【概要】 ○同和問題に関することや日常生活上の諸問題の相談に、相談員が対応 ・随時	同和問題相談員 1名 年間相談件数 69件		目標	毎月実施	毎月実施	毎月実施	毎月実施	毎月実施	毎月実施	
					【評価の理由】 ・年間を通して、随時、同和問題相談員を設置し、相談体制を整え、生活上の相談に応じ、関係行政機関と連携を図りながら助言や指導を実施することができたため。							
3	市民相談	【目的】 市民の家庭や日常生活の心配ごと、トラブル等について、身近に相談できる体制として無料の市民相談コーナーを開設し、市民の問題解決を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・市民相談を実施。 月～金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00 ・広報紙等で各種相談窓口を周知。 	2・ 概ね達成	指標(単位)	相談件数 (件)						<ul style="list-style-type: none"> ・相談体制のさらなる周知、潜在相談者からの相談を確保及び関係部署等との連携を図る。
	年度	29年度			30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)			
	市民相談室	【概要】 ○日常生活上の諸問題、問い合わせ等について、相談員が対応 ・毎週月曜日～金曜日(本庁)			目標	250	253	256	259	262	265	
					【評価の理由】 ・広報紙等で相談窓口を周知し、相談に対して概ね適切な助言や相談先の紹介ができ、相談件数が目標値の9割超となったため。							

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等		
4	合同相談	【目的】 市民の様々な悩みごとや心配ごと に、地域で資格を有する方や 専門の相談員を配置した無料の 相談窓口を開設し、その問題解 決を図る。	・合同相談の実施。 月1回	3 ・ や や 遅 れ て い る	指標(単位)	相談件数 (件)	・今後も、相談体制のさらなる 周知、潜在相談者からの相 談を確保する。	
	市民相談室	【概要】 ○行政相談、不動産相談、税務 相談等を専門相談員(行政相談委 員、不動産相談員、税理士、司 法書士、行政書士、臨床心理 士)が対応 ○人権擁護委員による相談 ・毎月1回(市民プラザかぞ)			年度	29年度		30年度
5	弁護士法律相 談	【目的】 市民の家庭や日常生活の心配ご と、トラブル等について、身近 に相談できる体制として無料の 弁護士法律相談を開設し、市民 の問題解決を図る。	・弁護士法律相談の実施。 月2回(本庁)、月1回 (総合支所)	2 ・ 概 ね 達 成	指標(単位)	相談件数 (件)	・空き状況をホームページに 掲載し、活用率をさらに高め る。 ・高齢者や交通弱者の方に対 し、市内の身近な弁護士の存 在を周知する。	
	市民相談室	【概要】 ○日常生活上の法律問題につ いて、弁護士が相談に対応 ・毎月2回(本庁) ・毎月1回(各総合支所)			年度	29年度		30年度
6	消費生活相談	【目的】 消費者と事業者との間の契約ト ラブルや多重債務者などの問題 を、専門の相談員が相談に応 じ、消費者の権利の確保や自立 を支援する。	・消費生活相談を実施。 月～金曜日 10:00～12:00 13:00～16:00	2 ・ 概 ね 達 成	指標(単位)	消費生活相談件数 (件)	・潜在被害者及び相談者に重 点をおいた相談体制を周知す る。	
	市民相談室	【概要】 ○契約トラブル、訪問販売トラ ブル等の相談 ○多重債務等の相談 ・毎週月曜日～金曜日(本庁)			年度	29年度		30年度
					【評価の理由】 ・広報紙やHPにより相談機関の周知を行い、相談に対して概ね適切な助 言ができたが、相談件数が目標値の8割を下回ったため。			
					【評価の理由】 ・空き状況をホームページに掲載し、活用率を高めたことで、相談件数 が目標値の9割超となったため。			
					【評価の理由】 ・消費生活センターの認知度向上に努めたことにより、相談件数が目標 値の9割以上に達し、相談者に適切なあっせん、助言等ができたためた め。			

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等					
-	年金相談	【目的】 国民年金に関する受給・手続きなどの各種相談に応じ、その問題解決等を図る。		-	指標(単位)	日曜年金相談の実施 (回)					
	国保年金課	【概要】 ○国保年金課窓口での国民年金相談 ・毎週月曜日～金曜日 ○休日年金相談 ・毎月最終日曜日			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)
					目標	12	12				
					実績	12	10				
					【評価の理由】 ・平成31年2月にねんきんサテライト加須を設置したことに伴い、日曜年金相談を廃止した。						
7	家庭児童相談	【目的】 家庭における児童の教育やしつけ、子育て等に関する、様々な悩みごとや心配ごとの相談窓口を開設し、その問題の解決を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭における児童の福祉に関する相談、助言、指導。 ・各総合支所担当との連携による家庭訪問の実施。 ・虐待通告に対しての家庭訪問の実施。 ・熊谷児童相談所職員との家庭訪問の実施。 ・要保護児童地域対策協議会の実務者会議に出席し関係各機関との連携。 	1・ 目標を達成	指標(単位)	相談延べ件数 (件)					
	子育て支援課	【概要】 ○育児の悩み、子どものこと、非行関係、家族関係の悩み、いじめに関する相談 ・家庭児童相談室 ・毎週月曜日～金曜日			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)
					目標	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800
					実績	4,267	5,616	7,993	6,265	5,091	5,624
					【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・子ども・子育てをめぐる課題が複雑・多様化している状況の中で、すくすく子育て相談室を中心に各総合支所と連携し、電話相談、窓口相談、家庭訪問を行ったことにより、目標値を超える相談に対応し、児童や家族への支援の充実を図ることができた。						
8	教育相談	【目的】 児童・生徒の教育をはじめとする、様々な悩みごとや心配ごとの相談窓口を開設し、その問題解決を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童、保護者に相談窓口について啓発を図るため、年2回案内を発行。 ・教職員に教育センターの活動や相談業務について周知を図るために、年間12号の教育センター便りを発行。 	1・ 目標を達成	指標(単位)	相談窓口の利用についての積極的な啓発活動のためのセンターだより発行回数 (回)					
	学校教育課	【概要】 ○子どものしつけや学習の悩み、心配ごと、教育に関する相談 ・火曜日を除く毎日 ・教育センター			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)
					目標	12	12	12	12	12	12
					実績	12	18	35	26	12	13
					【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・定期的な教育センターだよりの発行と臨時号の発行により、教職員に最新の教育情報や教育センターの活動や相談業務について周知できたため。						
											<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、すくすく子育て相談室を中心として関係機関と連携しながら、児童の福祉に関する相談、助言、指導を実施する。 ・今後も定期的なセンターだよりの発行等を通じ、教育センターの活動内容の周知と啓発活動を行っていく。

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等					
9	女性のための 相談室及び女性 ホットライン	【目的】 女性の暮らしの中で起きる、 様々な悩みごとや心配ごとの相 談窓口を開設し、その問題解決 を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 女性のための相談室 36件 女性ホットライン 196件 女性の相談員が、面接およ び電話で女性の全般的な悩み 相談を受け付け、悩みの解消 に寄与した。 	1・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	女性のための相談支援事業の周知活動回数 (回)					
	人権・男女共 同参画課	【概要】 ○女性のための相談室(面接相 談) ・毎週木曜日 ・女性センター ○ホットライン(電話相談) ・毎週月曜日 ・女性センター			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)
					目標	23	23	23	24	24	24
					実績	23	25	28	36	36	41
					【評価の理由】 ・広報紙やチラシの全戸配布、出前講座等により広く相談支援事業の周知を実施し、ひいては相談者のニーズに対応すべく相談支援を実施することができたため。						
10	DV等相談事 業	【目的】 DV等に関する相談に応じ、そ の問題解決を図るための支援を 行う。	<ul style="list-style-type: none"> DV被害者から相談を受 け、被害者に必要な情報提供 や支援について、関係各課と 連携を図り対応。 (緊急一時保護を要する被害 者 0件) 	1・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	面接相談・電話相談受付率 (%)					
	人権・男女共 同参画課	【概要】 ○被害者への適切な情報提供と 支援の実施			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)
					目標	相談者の 100%受付	相談者の 100%受付	相談者の 100%受付	相談者の 100%受付	相談者の 100%受付	相談者の 100%受付
					実績	相談者の 100%受付	相談者の 100%受付	相談者の 100%受付	相談者の 100%受付	相談者の 100%受付	相談者の 100%受付
					【評価の理由】 ・DV被害者からの相談を受け、関係機関と連携を図り、適切な情報提供や支援等を行ったため。						
11	高齢者総合相 談支援事業	【目的】 高齢者やその家族、または地域 住民等からの総合的な介護や福 祉に関する相談を受け、助言や 訪問、関係機関に適切に結びつ けるなどして、問題解決を図 る。	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者相談センターによる 相談支援。 高齢者相談センターを充実 させるための準備・調整。 	1・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	総合相談支援対応延件数 (件)					
	高齢介護課	【概要】 ○高齢者の健康と生活の安定に 関する相談 ○高齢者虐待の防止や早期発 見、権利擁護に関する相談 ○介護予防と介護サービスの利 用等に関する相談			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)
					目標	2,050	2,110	2,170	2,230	2,290	2,350
					実績	2,077	2,029	4,012	4,201	4,671	4,902
					【評価の理由】 ・高齢者相談センターでの電話相談、窓口相談、センター職員の訪問対 応等を行った結果、目標値を上回る相談支援件数を達成することができ たため。						

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	北埼玉障がい者生活支援センター相談受付従事者数(人)						
12	障害者相談支援事業 障がい者福祉課	【目的】 障がい者の社会参加をはじめとする、様々な悩みごとや心配ごとの相談対応を北埼玉障がい者生活支援センターで実施し、その問題解決を図る。 【概要】 ○身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者等に対する相談	・福祉サービス等利用援助 ・社会資源活用支援 ・社会生活能力向上支援 ・専門機関等の紹介 ・訪問による継続的なモニタリング ・ネットワーク会議(事業所・3市(加須,行田,羽生)担当者)	2・概ね達成	指標(単位)	北埼玉障がい者生活支援センター相談受付従事者数(人)						
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	
					目標	9	9	9	9	9	9	
					実績	8	8	8	8	8	8	
13	健康相談 いきいき健康長寿課	【目的】 心身とも健康で暮らせるよう、健康に関する様々な悩みごとや心配ごとの相談窓口を開設し、その問題解決を図る。 【概要】 ○健康に関する相談 ・出前による健康相談	◆健康相談 ・重点健康相談のテーマ別健康相談を実施。 加須…高血圧2回、脂質異常症1回、糖尿病1回 騎西・北川辺・大利根…糖尿病各1回 ※北川辺は実施予定であったが、申し込みなしのため実施せず。 ・加須保健センター及び各健康福祉センターにて総合健康相談を実施。 ・適宜、個別の健康相談を実施。	1・目標を達成	指標(単位)	重点健康相談に対する利用者の割合 (%)						
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	
					目標	100	100	100	100	100	100	
					実績	115	57	64.3	52	78	107	
					【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 <取組内容> ・重点健康相談：テーマ別(高血圧2回、糖尿病3回、脂質異常1回) ・総合健康相談：R4年度で廃止。適宜窓口や電話にて対応していく。 <評価に対する分析> ・重点健康相談の利用率が目標値を上回る実績値となったため。							

(3) 保護・支援の充実

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	面接相談・電話相談受付率 (%)						
1	DV等相談事業(再掲)	【目的】 DV等に関する相談に応じ、その問題解決を図るための支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> DV被害者から相談を受け、被害者に必要な情報提供や支援について、関係各課と連携を図り対応。(緊急一時保護を要する被害者0件) 	1・目標を達成	指標(単位)	面接相談・電話相談受付率 (%)						<ul style="list-style-type: none"> DV被害者に対し、関係各課と連携し適切な情報提供や支援を実施する。
	人権・男女共同参画課	【概要】 ○被害者への適切な情報提供と支援の実施			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	
2	児童虐待防止等ネットワーク事業(再掲)	【目的】 保護者からの虐待等で、保護が必要な児童に対して適切な対応を図り、児童の健全な育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 年1回の「要保護児童対策地域協議会代表者会議」を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止。 毎月予定していた「実務者会議」について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月・12月は開催を中止。その他の月は毎月開催して、情報共有、対応協議及び実践。 「個別ケース検討会議」を随時開催し、対応協議と実践。 	3・やや遅れている	指標(単位)	実務者会議、代表者会議の開催数 (回)						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、すすく子育て相談室を中心として関係機関と連携しながら、児童の福祉に関する相談、助言、指導を実施する。
	子育て支援課	【概要】 ○虐待防止等ネットワークによる代表者会議、例月の実務者会議、個別ケース会議の開催			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	
3	生活困窮者自立支援事業	【目的】 生活保護に至る前の段階の生活困窮者の自立促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者世帯が自立した生活を送れるよう、関係機関等と連携し、生活基盤の調整、就労支援を実施。 	4・大幅に遅れている	指標(単位)	自立支援計画書の作成者数 (人)						<ul style="list-style-type: none"> 困窮状態が複雑化し、深刻化する前に介入して早期に支援が行えるよう、関係機関等との連携を密にする。 新型コロナウイルス感染症の影響による相談は前年度に比べて減少傾向にあるが、令和4年度相談件数は227件であり、多くは収入減少、生活費等に関する相談であったため、家賃相当額を支援する住居確保給付金に繋げるなど短期間で困窮状態から脱却できるような努めた。
	生活福祉課	【概要】 ○生活困窮者に対し、就労その他の自立に関する相談支援、事業利用のためのプラン作成等			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等						
4	高齢者権利擁護事業	【目的】 高齢者が住み慣れた地域で安心して住み続けられるよう、権利侵害を受けている高齢者とその家族に対する支援を適切に行う。また、身寄りがなく、自らの権利を護れない高齢者を支える体制を整える。	・ 成年後見制度などの権利擁護に関する相談への支援。 (高齢者相談センターの窓口相談や電話相談等)	1・ 目標を達成	指標(単位)	権利擁護相談支援件数 (件)						
	高齢介護課	【概要】 ○高齢者虐待等の権利侵害に対する個別支援 ○虐待防止、成年後見制度の普及啓発			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	【評価の理由】 ・ 高齢者相談センターが専門性を生かし、支援困難なケースの相談支援を行った結果、目標値を上回る相談支援件数を達成する事ができたため。
5	高齢者成年後見制度利用支援事業	【目的】 本人の財産の管理や悪徳商法の被害等を防止し、高齢者の権利を擁護する。	・ 高齢者相談センターの窓口等で受けた相談から、支援できる親族等がないケース等に関して、市長申立てによる成年後見制度を検討し、状況に応じて申立てを実施。	3・ やや遅れている	指標(単位)	申立件数 (件)						
	高齢介護課	【概要】 ○身寄りがなく、申立てをする人がいない認知症の高齢者等の保護を図るため、市長が法定後見開始の審判申立てを行う。			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	【評価の理由】 ・ 高齢者相談センター等で成年後見の相談を行った結果、親族等が申し立てを行えるケースが多く、市長申立ては上記の件数に留まっている。 ・ 即時の申し立ての必要性が低く、今後の状況に応じて相談継続となっているケースも多く見られている。
6	高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク(再掲)	【目的】 高齢者等虐待防止ネットワーク会議を開催し、関係機関との連携体制を強化するとともに、関係機関と協働し、権利侵害のある一歩への早期介入、適切な支援につなげることにより高齢者や障がい者の権利を護る。	・ 令和5年2月に高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議を書面開催。	3・ やや遅れている	指標(単位)	開催回数 (回)						
	高齢介護課 障がい者福祉課 市民相談室	【概要】 ○高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議の開催			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	【評価の理由】 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、日程調整・関係機関の参加が難しく、書面による年1回の開催に留まったため。 ・ 書面により1回の開催となったが、関係機関への情報提供、注意喚起を行うことができた。

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等						
7	障害者虐待防止事業	【目的】 障がい者の権利利益の擁護を図る。	・障がい者虐待の防止、早期発見、虐待を受けた障がい者に対する保護や自立の支援、養護者に対する支援を実施。	1・ 目標を達成	指標(単位)	虐待防止に関わる周知 (回)						
	障がい者福祉課	【概要】 ○障がい者虐待の防止、早期発見、虐待を受けた障がい者に対する保護や自立の支援、養護者に対する支援			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 広報紙及びホームページにより周知するとともに、高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議にて現状報告等を書面にて行ったため。
8	障がい者成年後見制度利用支援事業	【目的】 知的障がい者や精神障がい者本人の財産管理、悪徳商法からの被害等を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人制度の対象候補者等からの相談等への対応。 ・対象者1名へ報酬助成。 ・市長申立て件数は0件。(申立て件数累計：7件(R5.3.31現在)) 	2・ 概ね達成	指標(単位)	市長申立てによる成年後見制度利用者数(累計) (人)						
	障がい者福祉課	【概要】 ○身寄りがなく、申立てをする人がいない知的障がい者、精神障がい者の方の保護を図るため、市長が法定後見(後見・保佐・補助)の開始で審判の申立てを行う			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 該当がないため市長による申立ては行わなかったが、親族申立ての相談支援を行い、判断能力の不十分な方の保護・支援を行ったため。
9	障害者差別解消法の取組	【目的】 すべての障がい者が、基本的人権のもとに障がいを理由とする差別を受けまいよう、また差別を解消するようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者であることによる差別を解消し、差別をしないよう広報紙及びホームページにより、広く市民に制度を周知。 ・市職員の適切な対応を徹底するため、「対応要領」を掲示板に掲載し、適切な対応依頼を行った。 	1・ 目標を達成	指標(単位)	法制度の周知・広報 (回)						<ul style="list-style-type: none"> ・障害を理由とした差別の禁止や、障害の特性に応じた配慮について、ホームページや広報により広く周知を行う。 ・北埼玉地域障がい者支援協議会において、障がい者差別に関する情報を共有、対応を協議し差別の解消を図る。
	障がい者福祉課	【概要】 ○不当な差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供について、広く市民に制度を周知するとともに、市職員には対応要領に基づき適切な対応を徹底する。			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	消費生活センターにおける消費生活相談件数 (件)						
10	消費者自立・ 支援事業	【目的】 高齢者、障がい者及び認知症等により判断能力が不十分となった消費者の権利の確保や自立を支援するとともに、消費者被害の未然防止、早期発見及び拡大防止を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談 月～金曜日 10:00～12:00 13:00～16:00 高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議の運営。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、消費者被害防止サポーターとの協働による敬老会及び消費生活講座での啓発活動は中止。 	2・概ね達成	指標(単位)	消費生活センターにおける消費生活相談件数 (件)						<ul style="list-style-type: none"> 潜在被害者及び相談者に重点をおいた相談体制を周知する。
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	
	目標	450			465	480	495	510	525			
	実績	541			843	736	653	480	506			
市民相談室	【概要】 ○消費生活相談の実施 ○高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議の開催 ○消費者被害防止啓発活動及び情報提供				【評価の理由】 ・消費生活センターの認知度向上に努めたことにより、相談件数が目標値の9割以上に達し、相談者に適切なあっせん、助言等ができたため。							

(4) 救済に向けた取組の充実

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	面接相談・電話相談受付率 (%)						
1	DV等相談事業 (再掲)	【目的】 DV等に関する相談に応じ、その問題解決を図るための支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・DV被害者から相談を受け、被害者に必要な情報提供や支援について、関係各課と連携を図り対応。 (緊急一時保護を要する被害者0件) 	1. 目標を達成	年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	<ul style="list-style-type: none"> ・DV被害者に対し、関係各課と連携し適切な情報提供や支援を実施する。
	目標	相談者の100%受付			相談者の100%受付	相談者の100%受付	相談者の100%受付	相談者の100%受付	相談者の100%受付			
	人権・男女共同参画課	【概要】 ○被害者への適切な情報提供と支援の実施			実績	相談者の100%受付	相談者の100%受付	相談者の100%受付	相談者の100%受付	相談者の100%受付	相談者の100%受付	
					【評価の理由】 ・DV被害者からの相談を受け、関係機関と連携を図り、適切な情報提供や支援等を行ったため。							
2	いじめの防止等のための取組の実施 (再掲)	【目的】 全ての児童生徒が安心して学校生活を送り、様々な活動に集中して取り組めるよう、いじめの根絶を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 【学校教育課】 ・各校のいじめの未然防止体制の充実。 ・いじめアンケート調査や、いじめ撲滅期間を年3回実施。 ・学校や教育センターに、さわやか相談員やスクールカウンセラー等を配置し、教育相談体制を充実。 	1. 目標を達成	指標(単位)	いじめ防止のための取組の実施 (回)						<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ撲滅期間の取組として、「SOSの出し方に関する教育」を行った。 ・今後もいじめのアンケートを定期的実施し、いじめの早期発見と早期解決に向けて取り組んでいく。
	年度	29年度			30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)			
					目標	いじめアンケート調査の実施(年間3回)	いじめアンケート調査の実施(年間3回)	いじめアンケート調査の実施(年間3回)	いじめアンケート調査の実施(年間3回)	いじめアンケート調査の実施(年間3回)	いじめアンケート調査の実施(年間3回)	
					実績	いじめ撲滅期間の実施(年間3回)	いじめ撲滅期間の実施(年間3回)	いじめ撲滅期間の実施(年間3回)	いじめ撲滅期間の実施(年間3回)	いじめ撲滅期間の実施(年間3回)	いじめ撲滅期間の実施(年間3回)	
	学校教育課 子育て支援課 人権・男女共同参画課	【概要】 ○いじめの防止等のための取組を実施			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・各校において、市が定めるいじめ撲滅期間に取り組んだ。また、年3回のいじめアンケートを実施し、いじめの早期発見と迅速な対応をとることができたため。							

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等																												
2			【子育て支援課】 ・年2回の「いじめ問題対策連絡協議会」を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止。 ・必要に応じて「個別ケース検討会議」等を随時開催し、情報共有と対応協議。	4 ・大幅に遅れている	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標(単位)</th> <th colspan="6">いじめ問題対策連絡協議会開催回数 (回)</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度(決算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止によりと中止とした。 ・いじめ問題対策連絡協議会を開催することはできなかったが、虐待、不登校案件について関係機関と連携を図り、今後の施策推進の参考とするため情報共有した。</p>	指標(単位)	いじめ問題対策連絡協議会開催回数 (回)						年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	目標	2	2	2	2	2	2	実績	1	2	2	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・すすすく子育て相談室を中心として各関係機関との連絡調整を行い、協議会において情報を共有し、対策を協議することにより、いじめの防止等の取組の一層の充実を図る。
指標(単位)	いじめ問題対策連絡協議会開催回数 (回)																																	
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)																												
目標	2	2	2	2	2	2																												
実績	1	2	2	0	0	0																												
2			【人権・男女共同参画課】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、いじめ問題対策連絡協議会の開催が中止となったため、委員会への情報提供は、なし。 ・関係各機関と情報を共有。	4 ・大幅に遅れている	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標(単位)</th> <th colspan="6">いじめ問題再調査委員会への情報提供回数 (回)</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度(決算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止により、いじめ問題対策連絡協議会は開催されなかったことから、情報提供をすることができなかったため。 ・いじめ問題対策連絡協議会を開催することはできなかったが、今後の施策推進の参考とするため、虐待、不登校案件について関係機関と情報を共有した。</p>	指標(単位)	いじめ問題再調査委員会への情報提供回数 (回)						年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	目標	1	1	2	2	2	2	実績	1	2	2	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止により、いじめ問題対策連絡協議会が開催されなかったため情報提供をすることはできなかったが、今後も、加須市いじめ問題再調査委員会委員に対し、加須市いじめ問題対策連絡協議会の資料等による加須市のいじめ問題に関する情報提供を行い、再調査委員会が開催された場合の審議に資するよう努めていく。
指標(単位)	いじめ問題再調査委員会への情報提供回数 (回)																																	
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)																												
目標	1	1	2	2	2	2																												
実績	1	2	2	1	0	0																												
3	児童虐待防止等ネットワーク事業(再掲) 子育て支援課	<p>【目的】 保護者からの虐待等で、保護が必要な児童に対して適切な対応を図り、児童の健全な育成を図る。</p> <p>【概要】 ○虐待防止等ネットワークによる代表者会議、例月の実務者会議、個別ケース会議の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回の「要保護児童対策地域協議会代表者会議」を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止。 ・毎月予定していた「実務者会議」について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月・12月は開催を中止。その他の月は毎月開催して、情報共有、対応協議及び実践。 ・「個別ケース検討会議」を随時開催し、対応協議と実践。 	3 ・やや遅れている	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標(単位)</th> <th colspan="6">実務者会議、代表者会議の開催数 (回)</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度(決算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止により、代表者会議は中止、実務者会議については、8月・12月の開催を中止し、その他の月は開催としたため、開催数が減少した。 ・実務者会議を開催しない月についても個別ケース検討会議を随時開催し、関係機関と情報を共有するとともに、対応を協議することにより連携を図ることができた。</p>	指標(単位)	実務者会議、代表者会議の開催数 (回)						年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	目標	13	13	13	13	13	13	実績	13	13	13	8	9	10	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、すすすく子育て相談室を中心として関係機関と連携しながら、児童の福祉に関する相談、助言、指導を実施する。
指標(単位)	実務者会議、代表者会議の開催数 (回)																																	
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)																												
目標	13	13	13	13	13	13																												
実績	13	13	13	8	9	10																												

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等	
4	高齢者総合相 談支援事業 (再掲)	【目的】 高齢者やその家族、または地域 住民等からの総合的な介護や福 祉に関する相談を受け、助言や 訪問、関係機関に適切に結びつ けるなどして、問題解決を図 る。	・高齢者相談センターによる 相談支援。 ・高齢者相談センターを充実 させるための準備・調整。	1・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	総合相談支援対応延件数 (件)	・引き続き高齢者相談セン ターへの相談、活用を高齢者 や高齢者を支える支援機関に 啓発していく。
	高齢介護課	【概要】 ○高齢者の健康と生活の安定に 関する相談 ○高齢者虐待の防止や早期発 見、権利擁護に関する相談 ○介護予防と介護サービスの利 用等に関する相談			年度	29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度 (決算)	
5	高齢者権利擁 護事業(再 掲)	【目的】 高齢者が住み慣れた地域で安心 して住み続けられるよう、権利 侵害を受けている高齢者とそ の家族に対する支援を適切に行 う。また、身寄りがなく、自ら の権利を護れない高齢者を支 える体制を整える。	・成年後見制度などの権利擁 護に関する相談への支援。 (高齢者相談センターの窓口 相談や電話相談等)	1・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	権利擁護相談支援件数 (件)	・高齢者相談センター等へ円 滑に相談できる環境整備を進 める。 ・少子高齢化に伴い、身寄り の無い高齢者が増えており、 相談時に対応出来る人員確保 と関係機関への連携を図る。
	高齢介護課	【概要】 ○高齢者虐待等の権利侵害に対 する個別支援 ○高齢者等虐待及び消費者被害 防止ネットワーク会議の開催 ○虐待防止、成年後見制度の普 及啓発			年度	29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度 (決算)	
6	高齢者等虐待 及び消費者被 害防止ネット ワーク(再 掲)	【目的】 高齢者等虐待防止ネットワー ク会議を開催し、関係機関との連 携体制を強化するとともに、関 係機関と協働し、権利侵害のあ るケースへの早期介入、適切な支 援につなげることにより高齢者 や障がい者の権利を護る。	・令和5年2月に高齢者等虐 待及び消費者被害防止ネット ワーク会議を書面開催。	3・ や や 遅 れ て い る	指標(単位)	開催回数 (回)	・今後も、関係機関への情報 提供・注意喚起を継続し、虐 待発生の未然防止、早期に通 報が入る体制作りを行ってい く。
	高齢介護課 障がい者福祉 課 市民相談室	【概要】 ○高齢者等虐待及び消費者被害 防止ネットワーク会議の開催			年度	29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度 (決算)	
					目標	2 2 2 2 2 2	
					実績	1 1 1 1 1 1	
					【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、日程調整・関係機関の参 集が難しく、書面による年1回の開催に留まったため。 ・書面により1回の開催となったが、関係機関への情報提供、注意喚起 を行うことができた。		

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	北埼玉障がい者生活支援センター相談受付従事者数 (人)							
7	障害者相談支援事業(再掲)	【目的】 障がい者の社会参加をはじめとする、様々な悩みごとや心配ごとの相談対応を北埼玉障がい者生活支援センターで実施し、その問題解決を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 福祉サービス等利用援助 社会資源活用支援 社会生活能力向上支援 専門機関等の紹介 訪問による継続的なモニタリング ネットワーク会議(事業所・3市担当者) 	2・概ね達成	指標(単位)	北埼玉障がい者生活支援センター相談受付従事者数 (人)						<ul style="list-style-type: none"> 生活支援センターは、身近な相談窓口として、障がい者の自立や社会参加の促進を図るため、様々な悩み事に対し、そのケースに応じ、個別に支援を行っているが、障がい者本人や支援をする親の高齢化により相談内容が複雑化し、困難ケースが増え、対応に時間と労力が必要になるため、きめ細やかな支援が難しくなってきた。困難ケースへの助言や人材育成機能を持つ基幹相談支援センターを設置により、相談体制の重層化を図り、本来のセンター機能の充実を図る。 	
	年度	29年度			30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	9	9		9
8	障がい者福祉課	【概要】 ○身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者等に対する相談	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者虐待の防止、早期発見、虐待を受けた障がい者に対する保護や自立の支援、養護者に対する支援を実施 	1・目標を達成	指標(単位)	虐待防止に関わる周知 (回)						<ul style="list-style-type: none"> 通報や相談に対し、迅速・適正に対応することで、障がい者の保護や自立の支援を行う。 事業所と連携し、情報を得ることで虐待の防止と早期発見を行う。 	
	年度	29年度			30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	3	3		3
9	消費者自立・支援事業(再掲)	【目的】 高齢者、障がい者及び認知症等により判断能力が不十分となった消費者の権利の確保や自立を支援するとともに、消費者被害の未然防止、早期発見及び拡大防止を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談 月～金曜日 10:00～12:00 13:00～16:00 高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議の運営。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、消費者被害防止サポーターとの協働による敬老会及び消費生活講座での啓発活動は中止。 	2・概ね達成	指標(単位)	消費生活センターにおける消費生活相談件数 (件)						<ul style="list-style-type: none"> 潜在被害者及び相談者に重点をおいた相談体制を周知する。 	
	年度	29年度			30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	450	465		480
9	市民相談室	【概要】 ○消費生活相談の実施 ○高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議の開催 ○消費者被害防止啓発活動及び情報提供			【評価の理由】 ・消費生活センターの認知度向上に努めたことにより、相談件数が目標値の9割以上に達し、相談者に適切なあっせん、助言等ができたため。	指標(単位)	消費生活センターにおける消費生活相談件数 (件)						
	年度	29年度			30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	541	843	736	

(5) NPO等との連携強化

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	人権擁護委員協議会加須部会の事業支援回数 (回)						
1	人権擁護委員 協議会支援 (再掲)	【目的】 人権擁護委員及び人権擁護委員協議会の活動支援を行うことにより、人権啓発及び人権相談事業の円滑な推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員協議会が実施する各種活動の支援 ・各地域の市民まつり等における啓発活動 ・加須市民まつり ・騎西銀杏祭 ・童謡のふる里おおとね市民まつり ・北川辺健康福祉まつり 	2 ・ 概 ね 達 成	指標(単位)	人権擁護委員協議会加須部会の事業支援回数 (回)						<ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発や人権相談業務の充実及び円滑な推進には、人権擁護委員及び人権擁護委員協議会との連携が不可欠であるため、今後も適切な活動支援及び連携を図っていく。
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	
					目標	7	7	7	7	7	7	
					実績	7	8	10	0	2	6	
	人権・男女共同参画課	【概要】 ○人権擁護委員協議会加須部会の活動支援 ○久喜人権啓発活動ネットワーク協議会への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・久喜人権啓発活動ネットワーク協議会による、人権教室の実施(原道小学校、田ヶ谷小学校) 		【評価の理由】 ・各地域におけるイベント等での啓発活動や、学校と連携した取り組みなどの支援を行い、広く人権啓発や人権・男女共同参画課相談業務の推進を図ることができたため。							

3 市民、NPO、企業等と協働した人権尊重の地域づくり

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	いじめ防止のための取組の実施 (回)						
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	
1	いじめの防止等のための取組の実施(再掲)	【目的】 全ての児童生徒が安心して学校生活を送り、様々な活動に集中して取り組めるよう、いじめの根絶を図る。	【学校教育課】 ・各校のいじめの未然防止体制の充実。 ・いじめアンケート調査や、いじめ撲滅期間を年3回実施。 ・学校や教育センターに、さわやか相談員やスクールカウンセラー等を配置し、教育相談体制を充実。	1・ 目標を達成	目標	いじめアンケート調査の実施(年間3回)	いじめアンケート調査の実施(年間3回)	いじめアンケート調査の実施(年間3回)	いじめアンケート調査の実施(年間3回)	いじめアンケート調査の実施(年間3回)	いじめアンケート調査の実施(年間3回)	<ul style="list-style-type: none"> いじめ撲滅期間の取組として、「SOSの出し方に関する教育」を行った。 今後もいじめのアンケートを定期的実施し、いじめの早期発見と早期解決に向けて取り組んでいく。
	学校教育課 子育て支援課 人権・男女共同参画課	【概要】 〇いじめの防止等のための取組を実施	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・各校において、市が定めるいじめ撲滅期間に取り組んだ。また、年3回のいじめアンケートを実施し、いじめの早期発見と迅速な対応をとることができたため。		実績	いじめアンケート調査の実施(年間3回)	いじめ撲滅期間の実施(年間3回)	いじめアンケート調査の実施(年間3回)	いじめ撲滅期間の実施(年間3回)	いじめアンケート調査の実施(年間3回)	いじめ撲滅期間の実施(年間3回)	
1			【子育て支援課】 ・年2回の「いじめ問題対策連絡協議会」を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止。 ・必要に応じて「個別ケース検討会議」等を随時開催し、情報共有と対応協議。	4・ 大幅に遅れている	指標(単位)	いじめ問題対策連絡協議会開催回数 (回)						<ul style="list-style-type: none"> すくすく子育て相談室を中心として各関係機関との連絡調整を行い、協議会において情報を共有し、対策を協議することにより、いじめの防止等の取組の一層の充実を図る。
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止によりと中止とした。 ・いじめ問題対策連絡協議会を開催することはできなかったが、虐待、不登校案件について関係機関と連携を図り、今後の施策推進の参考とするため情報共有した。		年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	
					目標	2	2	2	2	2	2	
					実績	1	2	2	0	0	0	

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等																												
1			【人権・男女共同参画課】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、いじめ問題対策連絡協議会の開催が中止となったため、委員会への情報提供は、なし。 ・関係各機関と情報を共有。	4 ・大幅に遅れている	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標(単位)</th> <th colspan="6">いじめ問題再調査委員会への情報提供回数 (回)</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度(決算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止により、いじめ問題対策連絡協議会は開催されなかったことから、情報提供をすることができなかったため。 ・いじめ問題対策連絡協議会を開催することはできなかったが、今後の施策推進の参考とするため、虐待、不登校案件について関係機関と情報を共有した。</p>	指標(単位)	いじめ問題再調査委員会への情報提供回数 (回)						年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	目標	1	1	2	2	2	2	実績	1	2	2	1	0	0	・今後も、加須市いじめ問題再調査委員会委員に対し、加須市いじめ問題対策連絡協議会の資料等による加須市のいじめ問題に関する情報提供を行い、再調査委員会が開催された場合の審議に資するよう努めていく。
指標(単位)	いじめ問題再調査委員会への情報提供回数 (回)																																	
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)																												
目標	1	1	2	2	2	2																												
実績	1	2	2	1	0	0																												
2	児童虐待防止等ネットワーク事業（再掲） 子育て支援課	【目的】 保護者からの虐待等で、保護が必要な児童に対して適切な対応を図り、児童の健全な育成を図る。 【概要】 ○虐待防止等ネットワークによる代表者会議、例月の実務者会議、個別ケース会議の開催	・年1回の「要保護児童対策地域協議会代表者会議」を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止。 ・毎月予定していた「実務者会議」について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月・12月は開催を中止。その他の月は毎月開催して、情報共有、対応協議及び実践。 ・「個別ケース検討会議」を随時開催し、対応協議と実践。	3 ・やや遅れている	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標(単位)</th> <th colspan="6">実務者会議、代表者会議の開催数 (回)</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度(決算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止により、代表者会議は中止、実務者会議については、8月・12月の開催を中止し、その他の月は開催としたため、開催数が減少した。 ・実務者会議を開催しない月についても個別ケース検討会議を随時開催し、関係機関と情報を共有するとともに、対応を協議することにより連携を図ることができた。</p>	指標(単位)	実務者会議、代表者会議の開催数 (回)						年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	目標	13	13	13	13	13	13	実績	13	13	13	8	9	10	・引き続き、すくすく子育て相談室を中心として関係機関と連携しながら、児童の福祉に関する相談、助言、指導を実施する。
指標(単位)	実務者会議、代表者会議の開催数 (回)																																	
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)																												
目標	13	13	13	13	13	13																												
実績	13	13	13	8	9	10																												
3	高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク（再掲） 高齢介護課 障がい者福祉課 市民相談室	【目的】 高齢者等虐待防止ネットワーク会議を開催し、関係機関との連携体制を強化するとともに、関係機関と協働し、権利侵害のあるケースへの早期介入、適切な支援につなげることで高齢者や障がい者の権利を護る。 【概要】 ○高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議の開催	・令和5年2月に高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議を書面開催。	3 ・やや遅れている	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標(単位)</th> <th colspan="6">開催回数 (回)</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度(決算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、日程調整・関係機関の参集が難しく、書面による年1回の開催に留まったため。 ・書面により1回の開催となったが、関係機関への情報提供、注意喚起を行うことができた。</p>	指標(単位)	開催回数 (回)						年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)	目標	2	2	2	2	2	2	実績	1	1	1	1	1	1	・今後も、関係機関への情報提供・注意喚起を継続し、虐待発生の未然防止、早期に通報が入る体制作りを行っていく。
指標(単位)	開催回数 (回)																																	
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度(決算)																												
目標	2	2	2	2	2	2																												
実績	1	1	1	1	1	1																												

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等					
4	同和問題に取り 組む民間運 動団体への対 応	【目的】 同和問題に取り組む民間運動団 体と行政の連携を図り、同和問 題の早期解決をめざすとも に、公正で主体的な行政運営を 遂行する。	【人権・男女共同参画課】 ・民間運動団体との意見調 整、会議、研修会、講演会等 へ参加。	1・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	-					
	人権・男女共 同参画課 生涯学習課	【概要】 ○団体との意見調整、会議、研 修会、講演会等への参加			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)
4			【生涯学習課】 ・民間運動団体との意見交換 会・研修会・会議・講演会等 へ参加	1・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	-					
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)
5	えせ同和行為 の排除	【目的】 えせ同和行為の実態、対応にあ たっての基本的心得、具体的な 対応方法等を関係機関と共有 し、連携を図ることによりえせ 同和行為の排除に努め、企業や 市民生活の安定を図る。	・各種会議、研修会等へ参加 し、えせ同和行為やその対策 について理解を深めた。 ・えせ同和行為についての相 談窓口を設け、助言とともに 啓発パンフレットを配布し、 排除に向けた取り組みを実 施。	1・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	えせ同和行為に関する啓発回数 (回)					
	人権・男女共 同参画課	【概要】 ○えせ同和行為排除のための会 議、研修会、講演会等への参加 ・関係機関との連絡調整 ・啓発パンフの配布	・えせ同和行為について、庁 内全部署及び関係団体に対 し、注意喚起を実施。 ・市ホームページやグルー プウェアにて、注意喚起を周 知。		年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (決算)	3年度 (当該年)	4年度 (目標年)
					目標	1	1	2	3	3	3
					実績	2	2	2	3	4	7
					【評価の理由】 ・市ホームページや庁内向けグループウェアへの掲載のほか、職員人権 問題研修(4回)、新人研修(1回)等、あらゆる機会をとらえ、えせ同和行 為についての啓発を繰り返し行い、えせ同和行為に対する適正な対応に ついて周知徹底を図ることができたため。						

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等					
6	加須市人権施策推進審議会の運営	【目的】 差別や偏見のない人権尊重社会の実現のため、市の人権教育及び人権啓発に関する基本施策の検討及び実施について審議する。	・第2次 加須市人権施策推進実施計画の実効性を確保していくため、人権施策推進審議会を開催し、各種施策の事業実施状況について報告・審議し、進行管理を実施。 開催日 令和4年11月2日 令和5年2月6日	1・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	審議会開催回数 (回)					
	人権・男女共同参画課	【概要】 ○審議会の開催 ・諮問に応じ随時 ・実施計画に基づく人権関連事業の進行管理			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)
					目標	2	1	2	1	1	1
					実績	2	1	1	1	1	2
					【評価の理由】 ・第2次加須市人権施策推進実施計画に基づく各種施策の事業実施状況について、人権施策推進審議会に報告し、意見をいただくことにより、適正な進行管理を行うことができたため。 ・諮問・答申を経て「加須市人権施策推進基本方針」、「加須市同和行政基本方針」及び「加須市人権教育基本方針」を改訂し、「第3次加須市人権施策実施計画」(計画期間：令和5年度～令和9年度)を策定することができたため。						
7	加須市田ヶ谷総合センター運営委員会の運営	【目的】 社会福祉法に基づき、福祉の向上及び人権啓発のための住民交流の拠点として設置された田ヶ谷総合センターの運営に関する重要事項を審議する。	・田ヶ谷総合センターの運営に関する重要事項について、田ヶ谷総合センター運営委員会を開催し審議を実施。 開催日 令和5年3月16日	1・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	運営委員会開催回数 (回)					
	人権・男女共同参画課	【概要】 ○運営委員会の開催(年1回) ・田ヶ谷総合センター利用者、講座受講者へのアンケートの実施、結果分析 ・教養講座等実施計画の検討			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)
					目標	1	1	1	1	1	1
					実績	1	1	2	3	3	1
					【評価の理由】 ・田ヶ谷総合センターの運営に関する重要事項について、運営委員会において審議し、委員会の意見を集約することにより、適正な運営を行うことができたため。						
8	加須市人権教育推進協議会の運営	【目的】 加須市における人権教育の推進を図り、同和問題をはじめとする人権問題の解決に寄与し、明るい地域社会をつくる。	・総会及び3つの専門委員会を開催し、人権教育の推進について協議を行うとともに、研修・啓発物資の作成・啓発DVD教材の選定	1・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	協議会・専門委員会開催回数 (回)					
	生涯学習課	【概要】 ○関係機関、団体と連携した協議会の運営 ・専門委員会の開催 ・研修会、講演会の企画 ・人権標語等の審査 ・啓発用視聴覚教材の選考			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)
					目標	5	5	5	5	5	5
					実績	5	5	5	5	5	5
					【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・計画通りに総会及び専門委員会を開催することができ、人権問題の解決に寄与して、明るい地域社会をつくりあげる一端を担うことができた。						

・今後も、第3次 加須市人権施策推進実施計画に基づく事業実施状況について、審議会の意見をいただきながら、適切な進行管理を行っていく。

・今後も、田ヶ谷総合センター運営委員会の意見をいただきながら、市民との協働により適正な施設の運営を進めていく。

・今後も、委員から意見を伺いながら、人権教育の推進を図っていく。

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等					
9	加須市人権保 育推進委員会 の運営	【目的】 子育て支援を必要とする家庭に 対し子どもの育つ権利を保障 し、いじめや差別を許さない豊 かな感性を持った子どもを育て る保育の保育園への定着を図 る。	・子育て支援を必要とする家 庭に対し、的確に支援が行え るよう、推進委員会におい て、研修会の実施や勉強会へ の参加を進め、支援体制の強 化に努めた。	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	推進委員会の開催回数 (回)					
	こども保育課	【概要】 ○推進委員会の開催 ○保育所、幼稚園、学校との連 絡調整 ○研究会等への参加			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)
					目標	1	1	1	1	1	1
					実績	1	1	1	1	1	1
					【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・目標どおり推進委員会を開催することができたため。						
10	性的少数者 (LGBT) に係る取組	【目的】 市民一人ひとりの人権の尊重と 多様性を認め合い、差別や偏見 のない人権尊重社会を実現す る。	・正しい理解の啓発と相談窓 口について、広報紙、ホーム ページに掲載。 ・研修会等において、相談窓 口も掲載した啓発リーフレッ トを配布。 ・人権啓発展において、資料 の展示と相談窓口の周知。 ・市の申請書等における不要 な性別記載を削除、もしくは 選択式から自書式への変更等 の配慮。 ・加須市パートナーシップ制 度の制定や開始に伴い、制度 の周知を広報紙や市ホーム ページに掲載。	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	広報紙・ホームページ掲載回数 (回)					
	人権・男女共 同参画課	【概要】 ○正しい理解のための情報提供 及び啓発活動 ・広報紙、ホームページへの掲 載 ・リーフレットの作成 ○申請書等における性別記載の 配慮 ○相談者への支援体制の充実			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)
					目標	2	2	2	2	2	2
					実績	1	2	2	1	2	4
					【評価の理由】 ・性的少数者への理解の促進や相談窓口の周知に加え、加須市パート ナーシップ制度を制定し、それに伴う周知・啓発を広報紙、市ホーム ページに掲載することができたため。 ・正しい理解の啓発と、相談窓口を掲載したリーフレットを研修会等で 配布、公共施設への配架により周知を行った。また、人権啓発展におい て、性的少数者への理解の啓発に関する資料を展示するとともに、相談 窓口の周知を行ったため。						

No	事業・取組名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和4年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等					
3	公的住宅の維持管理	【目的】 住宅環境向上のため、住宅の維持管理を行う。	◆公的住宅の維持管理 ・施設の修繕。 ・入退去業務。	1・ 目標を達成	指標(単位)	— (一)					
	建築課	【概要】 ○住宅の維持管理			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)
4	住宅新築資金等貸付金の償還	【目的】 景気の動向による事業の不振や多額の負債、傷病等による借受者等の状況把握に努め、きめ細やかな相談活動を行うなど、償還を適正に指導し、滞納者の減少及び滞納額の圧縮を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・償還計画の作成。 ・債務者の経済状況、生活状況等の把握。 ・納付相談。 ・臨宅を含む徴収業務。 収納額 過年度分 5,759,815円	1・ 目標を達成	指標(単位)	滞納件数 (件)					
	人権・男女共同参画課	【概要】 ○貸付金の償還と納付相談 ・滞納者への徴収業務 ・計画的返済の指導			年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (決算)
					目標	20	19	19	19	18	18
					実績	21	20	17	17	12	9